

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学科名：エコ・コミュニケーション科(3年制) こども保育&動物看護師専攻
【2019年度より募集開始】

授業科目名	授業時間数
動物行動論	60
動物の体のしくみ	30
動物の健康管理	30
アニマルヒストリー	30
畜産飼養	60
教育原理	30
教育課程総論	30
幼児と人間関係	15
野生動物管理学	60
クラフトワーク	60
動物の栄養	60
アニマルベーシック	30
次世代のための環境教育	60
動物関連法規	30
動物園飼育論Ⅰ	30
動物園飼育論Ⅱ	30
コンパニオンアニマル	60
エキゾチックアニマル	30
動物学概論	60
動物の繁殖	60
ドッグトレーニング演習	60
動物飼育演習	120
小動物飼育演習	60
保育原理	30
教職概論	30
造形表現(指導法)	15
幼児と言葉	15
幼児への特別な支援	15
保育の心理学	30
子ども家庭支援の心理学	30
子どもの保健	30
子どもの食と栄養	30
幼児の心理学	15
教育方法論	30
乳児保育Ⅰ	30
保育・教職実践演習	15
教育心理学	15
保育内容総論	15
人間関係(指導法)	15
言葉(指導法)	15
造形表現(指導法)	15
障害児保育	15
劇あそび(指導法)	15
言語表現	15
保育実習事前事後指導Ⅰ〔保育所〕	15
保育実習事前事後指導Ⅰ〔施設〕	15
教育実習事前事後指導	15
子どもの食と栄養	15
幼児と造形表現	15
乳児保育Ⅱ	15
子どもの健康と安全	15
子育て支援	15
保育・教職実践演習	15
保育実習事前事後指導Ⅱ	15
音楽Ⅰ	60
音楽Ⅱ	60
音楽Ⅲ	60
保育教材Ⅰ	30
保育教材研究	30
保育教材研究Ⅱ	30
保育実践事例	30
保育実践事例Ⅱ	30
保育実習対策	30
保育実習対策Ⅱ	30
研究保育指導法	30
研究保育指導法Ⅱ	30
現場実践指導	90
創作研究	60
認定病児保育スペシャリスト講座	30
実習(保育実習、教育実習440時間については、近畿大学九州短期大学通信教育部にて受講。シラバスは、近畿大学九州短期大学通信教育部より配布)	
合計	2025 (135)

※()内は単位数

2019年度 シラバス

こども保育&動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	動物行動論 (Animal Behavior Theory)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	PositiveWind 福島 みゆき ・ 森 竜一
	専攻名	動物園・動物飼育専攻、動物園公務員専攻、こども保育&動物飼育専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限

【授業の学習内容】

動物を飼育する現場で、動物が行動する理論「動物行動学」と「応用行動分析学」を理解することは、動物の福祉に基づいた配慮やお世話をする上で必要な理論である。まずは行動理論の基本を身に付け、適切な観察眼を高め、自身の行動をより動物に親切に配慮できるよう、考える基本を身に付ける。飼育動物のQOLをあげる。動物の行動について科学するための、観察の方法、考え方の基本、生得的行動と習得的行動の全貌。また、環境の変化や人の介在で、動物が学習をする時の科学的理解。応用行動分析学の基本を理解する。

※実務経験者

犬の保育園・しつけ方教室PositiveWind経営(2005年より)、「正の強化」の方法でのおだやかな犬育ての経験多数。福岡県内各保健所での犬しつけ講師・愛玩動物飼養管理士スクーリング講師・下関動物愛護センター犬のしつけ講師・環境省や福岡県獣医師会から依頼の講師経験多数の講師が授業を行う。

【到達目標】

動物の行動について科学的に、しかも我々も同じ動物として行動を科学でき、自他ともに観察できるよう

- ①動物行動学の基本の理解
- ②応用行動分析学の基本の理解
- ③ワークショップを通じてこれらを自分の体験として理解する
- ④考える・話し合いをする・発表をする力の習得

授業計画・内容

1回目	行動とは 行動学とは
2回目	動物行動学・生得的行動と習得的行動
3回目	ワークショップ1 人の行動を生得的行動を習得的行動に分ける
4回目	反射(レスポネント行動)と 馴化と 古典的条件づけ(レスポネント条件づけ)
5回目	ワークショップ2 レスポネント行動の実験 レスポネント条件づけの実験
6回目	オペラント条件付け① 中間試験予習
7回目	中間評価及び振り返り
8回目	オペラント条件づけ② 正の強化・負の強化
9回目	ワークショップ3 負の強化の行動例をあげる 負の強化の実験
10回目	オペラント条件づけ③ 正の弱化・負の弱化
11回目	ワークショップ4 負の弱化の行動例をあげる 負の弱化の実験
12回目	オペラント条件づけ④ 強化子と弱化子 確立操作
13回目	期末評価前演習
14回目	期末評価及び振り返り
15回目	ワークショップ5 正の強化の行動例をあげる 正の強化の実験

準備学習
時間外学習

学科で習った理論を、実生活で考えながら生活すると理解がより深まる。人間も動物なので、自分の行動を客観視すると楽しく学べる。

準備学習
時間外学習

評価方法

定期テストにて知識・技能の到達評価を行う。
 ●中間テスト(テスト点数結果の評価ポイントを点数の30%とする)
 ●期末テスト(テスト点数結果の評価ポイントを点数の50%とする)
 授業姿勢評価を最高20ポイントとし、全ポイント合計を評価ポイントとする。

【使用教科書・教材・参考書】 □

参考書・「動物たちは何を考えている?—動物心理学の挑戦—」日本動物心理学会:発行所株式会社技術評論社 「行動分析学入門」杉山尚子:株式会社集英社

2019年度 シラバス

こども保育&動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	動物行動論 (Animal Behavior Theory)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	PositiveWind 福島 みゆき・森 竜一
専攻名	動物園・動物飼育専攻、動物園公務員専攻、こども保育&動物飼育専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	月曜日2or3時限

【授業の学習内容】

前期の「動物行動学」「応用行動分析学」の基本から、実生活の応用へ高めていく。具体的には、問題行動へのアプローチ、予防となるトレーニング理論・ハズバンドリートレーニングの理論と方法へ。

※実務経験者

犬の保育園・しつけ方教室PositiveWind経営(2005年より)、「正の強化」の方法でのおだやかな犬育ての経験多数。福岡県内各保健所での犬しつけ講師・愛玩動物飼養管理士スクーリング講師・下関動物愛護センター犬のしつけ講師・環境省や福岡県獣医師会から依頼の講師経験多数の講師が授業を行う。

【到達目標】

動物をトレーニングする方法を、理論として理解し、身近な動物へのトレーニングを計画し実行できるようになる。問題行動について理解、予防の配慮や予防のトレーニングのアイデアが出せるようになり実行できる。

授業計画・内容

1回目	トレーニングと行動分析学 問題行動と行動分析学 強化子・弱化子・消去
2回目	ワークショップ1 「消去」後の行動を考える 日常生活における強化子と弱化子を考える
3回目	消去の副作用 強化スケジュール
4回目	ワークショップ2 連続強化スケジュール 部分強化スケジュール 消去を体感する
5回目	機能分析 分化強化 テスト前演習
6回目	中間評価及び振り返り
7回目	シェイピング
8回目	ワークショップ3 クリックを使ったシェイピング
9回目	プロンプト 弁別刺激
10回目	ワークショップ4 プロンプト 弁別刺激
11回目	問題行動 嫌悪刺激への副作用とハズバンドリートレーニング
12回目	ワークショップ5 ハズバンドリートレーニングのSTEPを考える
13回目	期末評価前演習
14回目	後期末評価及び振り返り
15回目	クリックゲーム

準備学習 時間外学習	自分の担当の動物や、家で飼っている動物をトレーニングしてみよう。
---------------	----------------------------------

評価方法	定期テストにて知識・技能の到達評価を行う。 ●中間テスト(テスト点数結果の評価ポイントを点数の30%とする) ●期末テスト(テスト点数結果の評価ポイントを点数の50%とする) 授業姿勢評価を最高20ポイントとし、全ポイント合計を評価ポイントとする。
------	---

【使用教科書・教材・参考書】 □

参考書・「動物たちは何を考えている?—動物心理学の挑戦—」日本動物心理学会:発行所株式会社技術評論社 「行動分析学入門」杉山尚子:株式会社集英社

2019年度 シラバス

こども保育&動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	動物の体のしくみ (Anatomy and Physiology of Animals)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	石飛 綾
専攻名	動物園・動物飼育専攻、動物園公務員専攻、こども保育&動物飼育専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	火曜日5時限or金曜日3時限

【授業の学習内容】

各臓器の正常な状態(形・位置・色・機能など)を学ぶ。体のしくみ、と聞くと、各部位の名称を覚えることが中心で、健康管理とは縁遠い印象があるかもしれないが、現場で行う健康管理と関連がある。例えば、歯の構造を学ぶことによって、歯のケアを行うときの注意点や、口内に起きやすい問題と対策方法がわかる。教科書には、その部分に多い病気についても記載があるので、正常な機能と比較をしながら解説を行う。

※実務経験者

神奈川県内の動物病院にて3年間、犬、猫、エキゾチックアニマルの診療、飼い主の方への健康管理のアドバイスなどを経験する。その後4年間「到津の森公園」にて、動物園動物の診療や健康管理など獣医師の業務だけでなく動物園の企画、広報業務にも携わった経験のある講師が授業を行う。

【到達目標】

- ①各臓器の正常な形・位置・色・機能などを理解し、説明することができる。
- ②各臓器の正常(健康)時と異常(病気)時の違いを比較し、説明することができる。
- ③現場で動物の健康チェックを行う時に、異常に気づくことができる 病気の動物に対するケアに活用することができる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	授業の目的・進め方、骨格系について①
2回目	骨格系について② 外皮系について①
3回目	外皮系について② 消化器系について①
4回目	消化器系について②
5回目	消化器系について③
6回目	消化器系について④
7回目	中間評価及び振り返り①
8回目	振り返り②
9回目	泌尿器系について①
10回目	泌尿器系について② 呼吸器系について①
11回目	呼吸器系について② 循環器系について①
12回目	循環器系について②
13回目	感覚器系について
14回目	期末評価及び振り返り①
15回目	振り返り②
準備学習 時間外学習	授業内容のほとんどが、初めて学習する内容となるため、理解できるまで時間をかけて説明する。初めて学習する内容は、特に授業中での理解を確実なものにして、もう一度整理する作業、復習が重要になる。授業の板書をノートに書き、さらに授業中のお話の内容をノートにメモし、授業後にノートを見直して内容を確認しておく、目標を達成しやすくなる。授業の冒頭で前回の授業のまとめを、授業の最後で当日の授業のまとめを簡単にお話するので、内容の整理に使うと効果的。専門用語に関しては、その都度解説を行う。
評価方法	●中間評価試験40% ●期末評価試験40% ●出席及び授業態度20%の割合で評価

【使用教科書・教材・参考書】 □

教科書
滋慶教育科学研究所「イラストで見る動物の体のしくみ」

2019年度 シラバス

こども保育&動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	動物の健康管理 (Healthy Management of Animals)	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	石飛 綾
専攻名	動物園・動物飼育専攻、動物園公務員専攻、こども保育&動物飼育専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜日5時限or金曜日3時限

【授業の学習内容】

動物を観察する(健康チェックを行う)ときの具体的な方法と判断基準(正常(健康)と異常(病気)の違い)、病気にさせないための手段(予防)について学習する。

※実務経験者

神奈川県内の動物病院にて3年間、犬、猫、エキゾチックアニマルの診療、飼い主の方への健康管理のアドバイスなどを経験する。その後4年間「到津の森公園」にて、動物園動物の診療や健康管理など獣医師の業務だけでなく動物園の企画、広報業務にも携わった経験のある講師が授業を行う。

【到達目標】

- ①健康チェックを行うときの具体的な方法と判断基準について理解できる、予防の内容と注意点について理解できる。
- ②健康チェックを動物に行うことができる。
- ③動物の変化に気づくことができる、動物を病気にさせない環境をつくり、病気にさせないための対策を立てることができる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	授業の目的、進め方、動物園動物の健康管理の特徴①
2回目	動物園動物の健康管理の特徴②
3回目	診察・治療の工夫、動物の全身の健康チェック①
4回目	動物の全身の健康チェック②
5回目	動物の全身の健康チェック③
6回目	診察・治療の工夫、保定の基本と注意点について
7回目	中間評価及び振り返り①
8回目	振り返り②
9回目	応急手当について
10回目	動物園で行われている予防について①
11回目	動物園で行われている予防について②
12回目	動物園で行われている予防について③
13回目	動物園で行われている予防について④
14回目	期末評価及び振り返り①
15回目	振り返り②
準備学習 時間外学習	授業内容のほとんどが、初めて学習する内容となるため、理解できるまで時間をかけて説明する。初めて学習する内容は、特に授業中での理解を確実なものにして、もう一度整理する作業、復習が重要になる。授業の板書をノートに書き、さらに授業中のお話の内容をノートにメモし、授業後にノートを見直して内容を確認しておく、目標を達成しやすくなる。授業の冒頭で前回の授業のまとめを、授業の最後で当日の授業のまとめを簡単にお話するので、内容の整理に使うと効果的。専門用語に関しては、その都度解説を行う。
評価方法	●中間評価試験40% ●期末評価試験40% ●出席及び授業態度20%の割合で評価

【使用教科書・教材・参考書】 □

参考書
社団法人 日本動物園水族館協会「新 飼育ハンドブック 動物園編 1 繁殖・飼料・病気」

2019年度 シラバス

こども保育&動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	アニマルヒストリー (History of Animals and Human)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	村田 倫子
専攻名	動物園・動物飼育専攻、動物園公務員専攻、こども保育&動物飼育専攻	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	火曜日2or3時限目

【授業の学習内容】

人と動物の歴史を学び、現在の状況を見直し、今後について考える。

※実務経験者

大野城市白水警察犬訓練学校にて警察犬訓練士の勉強に取り組む。P2&Associates株式会社において鳥、小動物飼育責任者と、店長、営業を経験。OPDESプロフェッショナルドッグトレーナー、アジリティインストラクターの資格を持ち、現在は家庭犬訓練、しつけ、パピートレーニングなどに取り組む講師が授業を行う。

【到達目標】

過去→現在→未来にわたる動物と人との関係性を考え、自分の考えを表現できるようになる。他の意見を聞き、考えを深めていく。

授業計画・内容

1回目	授業の進め方 ディスカッションとディベート
2回目	第1章 生命の誕生と進化の歴史
3回目	ディスカッション 遺伝子工学について
4回目	第2章 人の暮らしと動物の関係
5回目	ディスカッション 動物園のあり方
6回目	第3章 ペット事情とビジネス
7回目	ディベート 動物の命と経済
8回目	第4章 人の心と動物セラピー
9回目	ディベート 動物セラピー
10回目	第5章 人の社会で働く犬
11回目	ディスカッション 使役犬と愛玩犬
12回目	第6章 産業や文化としての役割
13回目	ディベート 家畜と動物愛護
14回目	期末評価及び振り返り①
15回目	振り返り②
準備学習 時間外学習	授業の進行に従ってディスカッションをするので、事前に調べ、自分の意見をまとめ発表できるように整理しておく。
評価方法	期末テスト70%、授業内評価参加度30%

【使用教科書・教材・参考書】 □

教科書
滋慶教育科学研究所「アニマルヒストリー」

2019年度 シラバス

こども保育&動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	畜産飼養 (Livestock Breeding)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	古川 高直
専攻名	動物園・動物飼育専攻、動物園公務員専攻、こども保育&動物飼育専攻	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜日2or3時限

【授業の学習内容】

家畜とは人の役に立つ動物であり、その歴史と生態および管理法を学び、他の大型動物等にも応用できる知識、能力を身につける。
また、関連法規等の学習や家畜人工授精師の学術応用にも触れることにより、より現場を見据えた授業を行う。

※実務経験者

1988年～現在まで、社会福祉法人若楠 どんぐり村(旧 株式会社どんぐり村)に所属し、乳牛や馬、小動物などの動物の飼育、園内イベントの企画、運営に携わり、観光牧場における様々な基礎知識、ノウハウを培う。また、現 社会福祉法人若楠 どんぐり村においても、就労継続支援A型事業の職業指導員として、各動物の飼育業務はもちろん、障がいを持たれた方々と共に、日々の業務を行う。

【到達目標】

全家畜の品種と特徴、利用目的、飼育に必要な道具の説明、健康管理、疾病、繁殖について、現場に必要な知識を学ぶ。

授業計画・内容

1回目	1年間の授業の流れ、家畜授業の目的、注意点等の説明
2回目	家畜の歴史とゼビュー種、咬傷事故の対応
3回目	家畜の防疫(鳥インフルエンザ、口蹄疫、牛トレーサビリティー)
4回目	身近な鳥類、養鶏の体の仕組みと品種
5回目	鶏(卵用、肉用)の一生、家畜の寿命
6回目	中間評価及び振り返り
7回目	家畜の採血と鶏の精子について
8回目	鶏の生殖器、ふ化について
9回目	養豚の歴史と品種、世界のイノシシ
10回目	代表的な豚の品種と改良、習性、行動
11回目	豚の繁殖、仔豚の管理
12回目	PSE豚とSPF豚、オーエスキー病について
13回目	実物の家畜飼料と他の動物への応用
14回目	ホースセラピー、アルビノと白変種
15回目	期末評価及び振り返り
準備学習 時間外学習	(前提) 出席日数、授業中の態度も評価の対象とする。まずは、出席すること。 また、使用テキスト(家畜飼育の基礎)の事前の読み込みにより、理解をより一層、深めることができるので、日常的な予習が望ましい。 授業前後の質問も、気軽に行ってほしい。
評価方法	筆記試験：80% 授業内評価(授業態度、発表)：20%

【使用教科書・教材・参考書】 □

- ・農文協「家畜飼育の基礎」
- ・実際の家畜道具

2019年度 シラバス

こども保育&動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	畜産飼養 (Livestock Breeding)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	古川 高直
専攻名	動物園・動物飼育専攻、動物園公務員専攻、こども保育&動物飼育専攻	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	火曜日2or3時限

【授業の学習内容】

家畜とは人の役に立つ動物であり、その歴史と生態および管理法を学び、他の大型動物等にも応用できる知識、能力を身につける。また、関連法規等の学習や家畜人工授精師の学術応用にも触れることにより、より現場を見据えた授業を行う。

※実務経験者

1988年～現在まで、社会福祉法人若楠 どんぐり村(旧 株式会社どんぐり村)に所属し、乳牛や馬、小動物などの動物の飼育、園内イベントの企画、運営に携わり、観光牧場における様々な基礎知識、ノウハウを培う。また、現 社会福祉法人若楠 どんぐり村においても、就労継続支援A型事業の職業指導員として、各動物の飼育業務はもちろん、障がいを持たれた方々と共に、日々の業務を行う。

【到達目標】

全家畜の品種と特徴、利用目的、飼育に必要な道具の説明、健康管理、疾病、繁殖について、現場に必要な知識を学ぶ。

授業計画・内容

1回目	乳牛の一生と、品種、国内飼養頭数
2回目	乳製品、乳質、乳量について
3回目	牛の発情、人工授精(道具での説明)
4回目	後代検定、牛群検定、牛の改良
5回目	牛の妊娠、難産、助産、及びローブワーク
6回目	初乳管理、反芻における胃の仕組み
7回目	中間評価及び振り返り
8回目	肉用牛の一生と、品種、国内飼養頭数
9回目	肉牛の管理、肉質、オーロックス等の世界の牛について
10回目	牛の疾病、反芻獣の共通疾病
11回目	馬の品種、「いのちをいただく」についてのグループディスカッション
12回目	馬の管理、在来馬の現状
13回目	羊、山羊の一生と、その管理、疾病について
14回目	期末評価及び振り返り
15回目	まとめ(家畜動物とは)
準備学習 時間外学習	(前提) 出席日数、授業中の態度も評価の対象とする。まずは、出席すること。 また、使用テキスト(家畜飼育の基礎)の事前の読み込みにより、理解をより一層、深めることができるので、日常的な予習が望ましい。 授業前後の質問も、気軽に行ってほしい。
評価方法	筆記試験：80% 授業内評価(授業態度、発表)：20%

【使用教科書・教材・参考書】 □

- ・農文協「家畜飼育の基礎」
- ・実際の家畜道具

2019年度 シラバス

こども保育&動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	動物園飼育論 I (Zoo Keeping Theory I)	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	井上 龍介
専攻名	動物園・動物飼育専攻、動物園公務員専攻、こども保育&動物飼育専攻	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	水曜日2or3時限

【授業の学習内容】

日本動物園水族館協会発行のテキストを基に、動物園の歴史と目的、使用動物の生態、危機管理、分類、学名、個体識別、哺乳類・鳥類・両生爬虫類の生理等について講義、観察、演習、実習を行う。

※実務経験者

1981年～「海の中道海浜公園 動物の森」立ち上げから20年以上責任者として携わり、園内の動植物の飼育管理の他獣舎や展示場の設計にも携わる。動物園における飼育技術を現場で実践してきた講師が授業を行う。

【到達目標】

動物園における動物飼育技術の基礎となる知識を修得する。
学習者は毎回の講義内容の主な項目について概要を説明できる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	動物園の歴史と存在意義、日本動物園水族館協会の活動(新飼育ハンドブック③p1～13)
2回目	動物の生態Ⅰ：分布と生態、動物園の関わり(新飼育ハンドブック③p14～15、p127～131)
3回目	動物の生態Ⅱ：国内種の分布と生態、動物園の関わり(新飼育ハンドブック⑤p15～17)
4回目	危機管理Ⅰ：事故防止と脱出防止(新飼育ハンドブック⑤p1～23)
5回目	危機管理Ⅱ：飼育従事者の感染症予防(新飼育ハンドブック③p33～44)
6回目	動物の分類：分類学、国際動物命名規約、個体の識別(新飼育ハンドブック③p33～54)
7回目	中間評価及び振り返り
8回目	哺乳類の生理Ⅰ：消化と吸収、体温と代謝エネルギー量(新飼育ハンドブック③p59～70)
9回目	哺乳類の生理Ⅱ：神経、血液、呼吸、感覚器官。内分泌と繁殖(新飼育ハンドブック③p59～70)
10回目	鳥類の生理Ⅰ：羽毛、消化と吸収、体温、気嚢と肺(新飼育ハンドブック③p71～85)
11回目	鳥類の生理Ⅱ：神経、血液、感覚器官、内分泌と繁殖生理(新飼育ハンドブック③p71～86)
12回目	鳥類の生理Ⅲ：有精卵の観察、ふ卵器の構造と操作実習(新飼育ハンドブック③p71～87)
13回目	両生類、爬虫類の生理：消化と吸収、体温と代謝エネルギー量(新飼育ハンドブック③p86～90)
14回目	昆虫の生理：体のしくみ、感覚器官、繁殖、ミツバチのコミュニケーション(新飼育ハンドブック③p97～104)
15回目	前期評価及び振り返り

準備学習
時間外学習

評価方法

筆記試験70% 授業内評価(課題への取組み、小テスト)30%

【使用教科書・教材・参考書】 □

新飼育ハンドブック動物園編①、③、⑤、資料編

2019年度 シラバス

こども保育&動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	動物園飼育論Ⅱ (Zoo Keeping Theory Ⅱ)	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	井上 龍介
専攻名	動物園・動物飼育専攻、動物園公務員専攻、こども保育&動物飼育専攻	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	水曜日2or3時限

【授業の学習内容】

テキスト類を基に、主に繁殖管理(飼料の見方、個体の記録、均衡劣化対策、出産予定日の特定等)や病気の予防と対応(疾病の種類、観察法、発生時の対応等)について講義、観察、演習を行う。さらに動物園雑誌記載の事例を学び実践的知識を深める。

※実務経験者

1981年～「海の中道海浜公園 動物の森」立ち上げから20年以上責任者として携わり、園内の動植物の飼育管理の他獣舎や展示場の設計にも携わる。動物園における飼育技術を現場で実践してきた講師が授業を行う。

【到達目標】

動物園における動物飼育技術のより実践的知識を修得する。
学習者は毎回の講義内容の主な項目について概要を説明できる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	繁殖管理Ⅰ：繁殖関係資料の見方(新飼育ハンドブック①p1～42、資料編)
2回目	繁殖管理Ⅱ：個体カードと近交劣化対策(新飼育ハンドブック①p1～42)
3回目	繁殖管理Ⅲ：繁殖行動の観察と出産予定日の計算(新飼育ハンドブック①p1～42)
4回目	飼料給餌Ⅰ：給餌一覧表の見方(新飼育ハンドブック①p43～85)
5回目	飼料給餌Ⅱ：飼料の種類と栄養(新飼育ハンドブック①p43～85)
6回目	飼料給餌Ⅲ：給餌表作成演習(新飼育ハンドブック①p43～85)
7回目	中間評価及び振り返り
8回目	病気の予防と対応Ⅰ：病気けがの種類(新飼育ハンドブック①p86～92)
9回目	病気の予防と対応Ⅱ：予防と日常観察の方法(新飼育ハンドブック①p86～92)
10回目	病気の予防と対応Ⅲ：発生時の対応(収容、治療等)(新飼育ハンドブック①p86～92)
11回目	トレーニング：動物園事例学習(JAZA雑誌 Vol50～60)
12回目	展示と環境エンリッチメント：動物園事例学習(JAZA雑誌 Vol50～60)
13回目	教育、研究、広報：動物園事例学習(JAZA雑誌 Vol50～60)
14回目	動物園に関する条約、法令、団体(JAZA雑誌 Vol50～60)
15回目	後期評価及び振り返り

準備学習
時間外学習

評価方法

筆記試験70% 授業内評価(課題への取り組み、小テスト)30%

【使用教科書・教材・参考書】 □

新飼育ハンドブック動物園編①、④、⑤、資料編

2019年度 シラバス

こども保育&動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	アニマルベーシック (Basic Animal Study)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	伊藤 悠介
専攻名	動物園・動物飼育専攻、動物園公務員専攻、こども保育&動物飼育専攻	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	金曜日1時限or2時限

【授業の学習内容】

動物業界に身を置く上で、分野に関わらず基礎的な生物知識を持つ事が大切である。この科目では、様々な動物、環境と関わる中で重要となる公衆衛生や、注意すべき感染症、生物が持つ環境や病気への免疫等について学ぶ。

※実務経験者

九州大学大学院にてウイルス感染症の研究を行っている講師が、授業を実施する。

【到達目標】

- ①生物多様性について理解し、説明できる。
- ②DNA・タンパク質について理解し、説明できる。
- ③生物の進化・分類について理解し、説明できる。
- ④病気・免疫・公衆衛生について理解し、説明できる。
- ⑤飼料・五大栄養素について理解し、説明できる。

授業計画・内容

1回目	オリエンテーション
2回目	生物多様性・DNA・遺伝子・分類 1回目
3回目	生物多様性・DNA・遺伝子・分類 2回目
4回目	生物多様性・DNA・遺伝子・分類 3回目
5回目	病気・公衆衛生・免疫 第1回目
6回目	病気・公衆衛生・免疫 第2回目
7回目	病気・公衆衛生・免疫 第3回目
8回目	中間評価及び振り返り
9回目	代謝・血液 第1回目
10回目	代謝・血液 第2回目
11回目	代謝・血液 第3回目
12回目	運動・分泌・五大栄養素 第1回
13回目	運動・分泌・五大栄養素 第2回
14回目	運動・分泌・五大栄養素 第3回
15回目	前期評価及び振り返り

準備学習
時間外学習

評価方法

レポート提出・評価:50%
授業参加度:50%

【使用教科書・教材・参考書】 □

ECO業界で役立つ基礎生物(株式会社滋慶出版)

2019年度 シラバス

こども保育&動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	エキゾチックアニマル	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	村田 倫子
	(Exotic Animals)	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
専攻名	動物園・動物飼育専攻、動物園公務員専攻、こども保育&動物飼育専攻					曜日・時限	火曜日2or3時限

【授業の学習内容】

エキゾチックアニマルの生態、行動を学び、飼育管理の基礎を習得する。

※実務経験者

大野城市白水警察犬訓練学校にて警察犬訓練士の勉強に取り組む。P2&Associates株式会社において鳥、小動物飼育責任者、と店長、営業を経験。OPDESプロフェッショナルドッグトレーナー、アジリティインストラクターの資格を持ち、現在は家庭犬訓練、しつけ、パピートレーニングなどに取り組む講師が授業を行う。

【到達目標】

ウサギ、モルモット、チンチラ、リス、ハムスター、フェレット、ハリネズミ、コンパニオンパード、カメ、トカゲ、ヘビの生態を学び、飼育管理ができ、正しい飼育方法について説明できるようになる。

授業計画・内容

1回目	エキゾチックアニマルとは 生態系のなりたちについて
2回目	ウサギの生態、飼育管理、疾病について
3回目	モルモット、チンチラの生態、飼育管理、疾病について
4回目	リス、ハムスターの生態、飼育管理、疾病について
5回目	フェレット、ハリネズミの生態、飼育管理、疾病について
6回目	カメの生態、種類、飼育管理について
7回目	中間評価及び振り返り①
8回目	振り返り②
9回目	トカゲの生態、種類、飼育管理について
10回目	ヘビ、カエルの生態、飼育管理について
11回目	コンパニオンパード 概論、飼育管理、体のしくみについて
12回目	コンパニオンパード 種類、疾病について
13回目	観賞魚の飼育基礎、水質管理について
14回目	期末評価及び振り返り①
15回目	振り返り②
準備学習 時間外学習	身近な動物について自身が持っている経験や知識を整理すること、教科書を読んで予備知識を持って授業にのぞむことが大切。配布されたプリントに書き込み、メモを取った内容について復習して知識の定着に努めること。
評価方法	中間テスト30%、期末テスト50%、授業内評価20%

【使用教科書・教材・参考書】 □

教科書

滋慶教育科学研究所「イラストで見る動物の飼育管理」

プリント配布

2019年度 シラバス

こども保育&動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	動物学概論 (Introduction to Zoology)	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	川口澄雄
専攻名	動物園・動物飼育専攻、動物園公務員専攻、こども保育&動物飼育専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 月曜日1or2時限

【授業の学習内容】

動物園の歴史から進化・分類や法則、動物関連の法律、動物の地理的分布から生理学、生態学を理解する。

※実務経験者

昭和48年福岡市動物園飼育員採用。子供動物園を最初に園内のほとんどの動物を担当。ウサギ、モルモット、小鳥から、中型動物、大型動物ゾウ、カバ、サイ、キリン、など特にゴリラ、チンパンジーは通算すると15年程担当する。平成27年退職。30年以上飼育現場に携わってきた講師が授業を行う。

【到達目標】

動物学に関する基本的な知識の習得を目指す。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	授業内容及び授業の進め方、到達目標について
2回目	動物園・水族館の歴史（新 飼育ハンドブック③ P1～）
3回目	動物園・水族館の役割（新 飼育ハンドブック③ P10～）
4回目	動物園・水族館に関する法令（新 飼育ハンドブック③ P18～）
5回目	分類①～分類と分類学～（新 飼育ハンドブック③ P33～）
6回目	分類②～国際動物命名規約～（新 飼育ハンドブック③ P39～）
7回目	中間評価及び振り返り①
8回目	中間評価及び振り返り②
9回目	分類③～脊椎動物の分類～（新 飼育ハンドブック③ P45～）
10回目	生理①～哺乳類～（新 飼育ハンドブック③ P59～）
11回目	生理②～鳥類～（新 飼育ハンドブック③ P71～）
12回目	生理③～両性・爬虫類～（新 飼育ハンドブック③ P86～）
13回目	オーストラリアの動物相について
14回目	期末評価及び振り返り①
15回目	振り返り②
準備学習 時間外学習	授業当日までに教科書の該当箇所を読んでおくこと。またテレビやインターネット、図鑑、研修、これらの授業との関連性を理解するように努力してほしい。
評価方法	中間評価試験(40%) 期末評価試験(40%) 授業内評価(20%)

【使用教科書・教材・参考書】 □

新飼育ハンドブック③

2019年度 シラバス

こども保育&動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	動物学概論 (Introduction to Zoology)	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	川口澄雄
専攻名	動物園・動物飼育専攻、動物園公務員専攻、こども保育&動物飼育専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 月曜日1or2時限

【授業の学習内容】

動物園の歴史から進化・分類や法則、動物関連の法律、動物の地理的分布から生理学、生態学を理解する。

※実務経験者

昭和48年福岡市動物園飼育員採用。子供動物園を最初に園内のほとんどの動物を担当。ウサギ、モルモット、小鳥から、中型動物、大型動物ゾウ、カバ、サイ、キリン、など特にゴリラ、チンパンジーは通算すると15年程担当する。平成27年退職。30年以上飼育現場に携わってきた講師が授業を行う。

【到達目標】

動物学に関する基本的な知識の習得を目指す。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	生態～環境エンリッチメント①
2回目	生態～環境エンリッチメント②
3回目	生態～環境エンリッチメント③
4回目	環境エンリッチメントを考える～グループワーク及び発表
5回目	生態②～動物生態の理解(生体用語等の解説)
6回目	生態②～動物生態の理解(コミュニケーション)
7回目	生態②～動物生態の理解(多様な繁殖様式)
8回目	中間評価及び振り返り①
9回目	中間評価及び振り返り②
10回目	生態②～動物生態の理解(繁殖戦略)
11回目	生態②～動物生態の理解(本能と学習)
12回目	生態③～進化に基づく諸現象の理解～
13回目	1年間のまとめ
14回目	期末評価及び振り返り①
15回目	振り返り②
準備学習 時間外学習	授業当日までに教科書の該当箇所を読んでおくこと。またテレビやインターネット、図鑑、研修、これらの授業との関連性を理解するように努力してほしい。
評価方法	中間評価試験(40%) 期末評価試験(40%) 授業内評価(20%)

【使用教科書・教材・参考書】 □

新飼育ハンドブック③

2019年度 シラバス

こども保育&動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	動物の繁殖 (Breeding of Animals)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	石飛 綾
専攻名	動物園・動物飼育専攻、動物園公務員専攻、こども保育&動物飼育専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜日4時限or金曜日4時限
<p>【授業の学習内容】</p> <p>動物の繁殖は、飼育現場で関わりの深い分野で、動物の種類や状況に合う環境をつくる技術や観察力が求められることも多い。この授業では、様々な動物の繁殖のメカニズムや繁殖行動について、詳しく学習する。</p> <p>※実務経験者 神奈川県内の動物病院にて3年間、犬、猫、エキゾチックアニマルの診療、飼い主の方への健康管理のアドバイスなどを経験する。その後4年間「到津の森公園」にて、動物園動物の診療や健康管理など獣医師の業務だけでなく動物園の企画、広報業務にも携わった経験のある講師が授業を行う。</p> <p>【到達目標】</p> <p>①動物園動物の繁殖の現状・注意点・工夫などについて理解する、各動物の繁殖のメカニズムや、不妊去勢手術のメリット・デメリットについて理解する。 ②目標①の内容について、説明ができる。 ③飼育現場で繁殖に適した環境づくりや、動物の行動観察ができる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	授業の目的、進め方、動物園動物の繁殖の目的・特徴など(総論)①
2回目	動物園動物の繁殖の目的・特徴など(総論)②
3回目	犬の繁殖のメカニズム①
4回目	犬の繁殖のメカニズム②
5回目	猫の繁殖のメカニズム①
6回目	猫の繁殖のメカニズム②
7回目	中間評価及び振り返り①
8回目	振り返り②
9回目	犬猫の不妊去勢手術のメリット・デメリットについて①
10回目	犬猫の不妊去勢手術のメリット・デメリットについて②
11回目	動物園動物(肉食獣)の繁殖について①
12回目	動物園動物(肉食獣)の繁殖について②
13回目	動物園動物(肉食獣)の繁殖について③
14回目	期末評価及び振り返り①
15回目	振り返り②
準備学習 時間外学習	授業内容のほとんどが初めて学習する内容となるため、理解できるまで時間をかけて説明する。初めて学習する内容は、特に授業中での理解を確実なものにして、もう一度整理する作業、復習が重要になる。授業の板書をノートに書き、さらに授業中のお話の内容をノートにメモし、授業後にノートを見直して内容を確認しておく、目標を達成しやすくなる。授業の冒頭で前回の授業のまとめを、授業の最後で当日の授業のまとめを簡単にお話するので、内容の整理に使うと効果的。繁殖に関する専門用語に関しては、その都度解説を行う。
評価方法	●中間評価試験40%●期末評価試験40%●出席及び授業態度20%の割合で評価
【使用教科書・教材・参考書】 □	
<ul style="list-style-type: none"> ・社団法人 日本動物園水族館協会「新 飼育ハンドブック 動物園編1 繁殖・飼料・病気」 ・滋慶教育科学研究所監修「イラストで見る動物の体のしくみ(生殖器系 内分泌系)」 	

2019年度 シラバス

こども保育&動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	動物の繁殖 (Breeding of Animals)	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	石飛 綾
専攻名	動物園・動物飼育専攻、動物園公務員専攻、こども保育&動物飼育専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	火曜日4時限or金曜日4時限
<p>【授業の学習内容】</p> <p>動物の繁殖は、飼育現場で関わりの深い分野で、動物の種類や状況に合う環境をつくる技術や観察力が求められることも多い。この授業では、様々な動物の繁殖のメカニズムや繁殖行動について、詳しく学習する。</p> <p>※実務経験者 神奈川県内の動物病院にて3年間、犬、猫、エキゾチックアニマルの診療、飼い主の方への健康管理のアドバイスなどを経験する。その後4年間「到津の森公園」にて、動物園動物の診療や健康管理など獣医師の業務だけでなく動物園の企画、広報業務にも携わった経験のある講師が授業を行う。</p> <p>【到達目標】</p> <p>①動物園動物の繁殖の現状・注意点・工夫などについて理解する、各動物の繁殖のメカニズムや、不妊去勢手術のメリット・デメリットについて理解する。 ②目標①の内容について、説明ができる。 ③飼育現場で繁殖に適した環境づくりや、動物の行動観察ができる。</p>							

授 業 計 画 ・ 内 容	
1回目	繁殖時に多い問題や病気について(総論)①
2回目	繁殖時に多い問題や病気について(総論)②
3回目	サル類の繁殖について①
4回目	サル類の繁殖について②
5回目	草食獣の繁殖について①
6回目	草食獣の繁殖について②
7回目	中間評価及び振り返り①
8回目	振り返り②
9回目	有袋類の繁殖について
10回目	鳥類の繁殖について①
11回目	鳥類の繁殖について②
12回目	爬虫類の繁殖について①
13回目	爬虫類の繁殖について②
14回目	期末評価及び振り返り①
15回目	振り返り②
準備学習 時間外学習	授業内容のほとんどが初めて学習する内容となるため、理解できるまで時間をかけて説明する。初めて学習する内容は、特に授業中での理解を確実なものにして、もう一度整理する作業、復習が重要になる。授業の板書をノートに書き、さらに授業中のお話の内容をノートにメモし、授業後にノートを見直して内容を確認しておく、目標を達成しやすくなる。授業の冒頭で前回の授業のまとめを、授業の最後で当日の授業のまとめを簡単にお話するので、内容の整理に使うと効果的。繁殖に関する専門用語に関しては、その都度解説を行う。
評価方法	●中間評価試験40%●期末評価試験40%●出席及び授業態度20%の割合で評価
【使用教科書・教材・参考書】 □	
<ul style="list-style-type: none"> ・社団法人 日本動物園水族館協会「新 飼育ハンドブック 動物園編1 繁殖・飼料・病気」 ・滋慶教育科学研究所監修「イラストで見る動物の体のしくみ(生殖器系 内分泌系)」 	

2019年度 シラバス

こども保育&動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	ドッグトレーニング演習 (Practical Dog Training)	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	松尾 彩加
専攻名	動物園・動物飼育専攻、動物園公務員専攻、こども保育&動物飼育専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	水曜日4時限or金曜日3時限

【授業の学習内容】

動物の中でも特に人との関わりが長い「犬」に関して学ぶ事は、動物の学習理論に理解を深めるとともに動物業界でのお客様とのコミュニケーション(接客・ふれあい・啓発等)にも活用できる。この授業では犬の習性や学習のプロセス、また動物施設における適切な管理を学び、実践する。

※実務経験者

家庭犬トレーナーとして犬のしつけ教室や幼稚園等の業務を行う傍ら、災害救助犬の訓練やハンドラーとして現場に携わっている講師が授業を実施する。

【到達目標】

犬の生態、行動学、学習の仕方を理解し、犬のトレーニングができるようになる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	講師紹介、1年間の授業の流れ、注意点等説明
2回目	犬の歴史について(オオカミから犬になるまで)
3回目	犬の体の構造、感覚機能について
4回目	ボディランゲージ、カーミングシグナルについて
5回目	4回までの振り返り、犬の生態・習性について
6回目	中間評価及び振り返り①
7回目	振り返り②+犬種学(第1グループ)
8回目	犬種学(第2グループ、第3グループ) 犬種小テスト
9回目	犬種学(第3グループ、第4グループ) 犬種小テスト
10回目	犬種学(第5グループ、第6グループ) 犬種小テスト
11回目	犬種学(第6グループ、第7グループ) 犬種小テスト
12回目	犬種学(第8グループ、第9グループ) 犬種小テスト
13回目	犬種学(第9グループ、第10グループ) 犬種小テスト
14回目	前期評価及び振り返り①
15回目	振り返り②

準備学習 時間外学習	
---------------	--

評価方法	筆記試験:50% レポート提出及び評価:40% 平常点(授業態度、授業への積極的参加等):10%
------	--

【使用教科書・教材・参考書】 □

2019年度 シラバス

こども保育&動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	ドッグトレーニング演習 (Practical Dog Training)	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	松尾 彩加
専攻名	動物園・動物飼育専攻、動物園公務員専攻、こども保育&動物飼育専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	水曜日4時限or金曜日3時限

【授業の学習内容】

動物の中でも特に人との関わりが長い「犬」に関して学ぶ事は、動物の学習理論に理解を深めるとともに動物業界でのお客様とのコミュニケーション(接客・ふれあい・啓発等)にも活用できる。この授業では犬の習性や学習のプロセス、また動物施設における適切な管理を学び、実践する。

※実務経験者

家庭犬トレーナーとして犬のしつけ教室や幼稚園等の業務を行う傍ら、災害救助犬の訓練やハンドラーとして現場に携わっている講師が授業を実施する。

【到達目標】

犬の生態、行動学、学習の仕方を理解し、犬のトレーニングができるようになる

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	犬具の説明、使い方、トレーニング用語
2回目	基本的な犬の抱き方、扱い方、パピートレーニング
3回目	犬の行動分析学(古典的条件付け、オペラント)
4回目	犬の行動分析学(罰による副作用)
5回目	基礎トレーニング
6回目	基礎トレーニング(スワレ、フセ、ターゲット、解除、ヒール)
7回目	クリッカートレーニング(クリッカートレーニングのポイント、用語)
8回目	クリッカートレーニング(シェイピングゲーム)
9回目	クリッカートレーニング(犬を使ってシェイピング)
10回目	クリッカートレーニング+犬種小テスト
11回目	クリッカートレーニング+犬種小テスト
12回目	クリッカートレーニング+犬種小テスト
13回目	クリッカートレーニング+犬種小テスト
14回目	後期期末評価及び振り返り①
15回目	振り返り②

準備学習
時間外学習

評価方法

筆記試験:60%
実技試験:30%
平常点(授業態度、授業への積極的参加等):10%

【使用教科書・教材・参考書】 □

2019年度 シラバス

こども保育&動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	動物飼育演習 (Practice of Animal Keeping)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	椎場 瞳／施設スタッフ
専攻名	動物園・動物飼育専攻、動物園公務員専攻、こども保育&動物飼育専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
						曜日・時限	木曜日3・4時限

【授業の学習内容】

実際の現場(動物園・牧場・ショップ他動物関連施設)へ出向き、各施設の特徴や飼育管理について学ぶ。また、現場のスタッフの話を聞き、現場で必要とされる「身構え・気構え・心構え」を学び身に付ける。
 実際の現場(動物園・牧場・ショップ他動物関連施設)へ出向き、各施設見学や飼育管理及び講話を聴講する。またそれらをまとめレポートにて提出する。

※実務経験者

椎場瞳:サファリパークにて3年間の飼育員経験有。サルや鳥類、クマ等様々な動物の飼育とワラビーの人工保育といった繁殖にも取り組む。
 各授業では、実際の現場へ出向き、また現場で働くスタッフを学校へ招くなどして講話を受け、これらの現場で求められる知識、技術を理解する。

【到達目標】

- ・施設の特徴を理解することができる。
- ・基本的な動物の飼育管理が出来る。
- ・お客様へのホスピタリティを理解する事が出来る。
- ・現場で必要となるスキルを身に付ける事が出来る。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	【ガイダンス①】目的・目標、年間スケジュール
2回目	【施設見学①】動物の森
3回目	【施設見学②】ピクニカ共和国
4回目	【キーパーズトーク①】大牟田市動物園
5回目	【宿泊研修】大分
6回目	【宿泊研修】大分
7回目	【キーパーズトーク②】大牟田市動物園
8回目	【施設見学③】動物愛護センター
9回目	【ガイダンス②】業界研修前ガイダンス
10回目	【キーパーズトーク③】大牟田市動物園
11回目	【キーパーズトーク④】大牟田市動物園
12回目	【特別講義①】アニマルエスコートサービス
13回目	【キーパーズトーク⑤】大牟田市動物園
14回目	【ガイダンス③】前期の振り返り、海外実学研修に向けて
15回目	まとめ
準備学習 時間外学習	飼育演習先の施設や目的に沿って事前学習を行う。班ごとに調べたものをまとめ、それらを基に研修委員が配布資料を作成し、バス移動中に班ごとに発表しクラスで共有する。 外に出る機会が多いので、福岡ECOの学生としての立居振舞をするよう心掛けること。
評価方法	レポート:80%、授業内評価(傾聴力・発言力):20%

【使用教科書・教材・参考書】 □

2019年度 シラバス

こども保育&動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	動物飼育演習 (Practice of Animal Keeping)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	椎場 瞳／施設スタッフ
専攻名	動物園・動物飼育専攻、動物園公務員専攻、こども保育&動物飼育専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	後期
						曜日・時限	木曜日3・4時限

【授業の学習内容】

実際の現場(動物園・牧場・ショップ他動物関連施設)へ出向き、各施設の特徴や飼育管理について学ぶ。また、現場のスタッフの話を聞き、現場で必要とされる「身構え・気構え・心構え」を学び身に付ける。
 実際の現場(動物園・牧場・ショップ他動物関連施設)へ出向き、各施設見学や飼育管理及び講話を聴講する。またそれらをまとめレポートにて提出する。

※実務経験者

椎場瞳:サファリパークにて3年間の飼育員経験有。サルや鳥類、クマ等様々な動物の飼育とワラビーの人工保育といった繁殖にも取り組む。
 各授業では、実際の現場へ出向き、また現場で働くスタッフを学校へ招くなどして講話を受け、これらの現場で求められる知識、技術を理解する。

【到達目標】

- ・施設の特徴を理解することができる
- ・基本的な動物の飼育管理が出来る
- ・お客様へのホスピタリティを理解する事が出来る
- ・現場で必要となるスキルを身に付ける事が出来る

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	【ガイダンス④】後期スケジュール確認
2回目	【特別講義②】(つまき♪さん)
3回目	【施設見学④】森きさら、たびら昆虫園
4回目	【施設見学⑤】到津の森公園
5回目	【ガイダンス⑤】乗馬演習説明
6回目	【特別講義③】(西原先生)
7回目	【施設見学⑧】いのちのたび博物館、環境ミュージアム
8回目	【施設見学⑦】きらら浜自然観察公園、ときわ動物園
9回目	【施設見学⑨】ペットショップ
10回目	【施設見学⑩】阿蘇カドリー・ドミニオン、阿蘇猿まわし劇場
11回目	【演習】乗馬演習①
12回目	【演習】乗馬演習②
13回目	【演習】乗馬演習③
14回目	【演習】乗馬演習④
15回目	【ガイダンス⑥】1年間の振り返り
準備学習 時間外学習	飼育演習先の施設や目的に沿って事前学習を行う。班ごとに調べたものをまとめ、それらを基に研修委員が配布資料を作成し、バス移動中に班ごとに発表しクラスで共有する。 外に出る機会が多いので、福岡ECOの学生としての立居振舞をするよう心掛けること。
評価方法	レポート:80%、授業内評価(傾聴力・発言力):20%

【使用教科書・教材・参考書】 □

2019年度 シラバス

こども保育&動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	小動物飼育演習 (Practical Small Animal Care)	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	椎場 瞳
専攻名	動物園・動物飼育専攻、動物園公務員専攻、こども保育&動物飼育専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	前期 火曜日1時限or水曜日1or4時限
<p>【授業の学習内容】 小動物を中心に体のしくみや生態を理解した上で飼育管理を学ぶ。</p> <p>※実務経験者 サファリパークにて3年間の飼育員経験有。サルや鳥類、クマ等様々な動物の飼育とワラビーの人工保育といった繁殖にも取り組む。</p> <p>【到達目標】 ・飼養管理:各種動物に合った飼養管理を理解する。 ・掃除:限られた時間内での素早く丁寧な掃除が出来る。</p>							

授業計画・内容

1回目	講師紹介、1年間の授業の流れ、注意点等説明、グループ分け
2回目	飼養管理①【掃除道具の種類と使い方】
3回目	飼養管理②【エサの種類と調餌と給餌について】
4回目	飼養管理③【ウサギ・モルモットの飼育について】
5回目	飼養管理④【齧歯目の飼育について】
6回目	飼養管理⑤【大型哺乳動物の飼育について】
7回目	中間評価及び振り返り
8回目	飼養管理⑥【両生・爬虫類の飼育について】
9回目	飼養管理⑦【鳥類の飼育について】
10回目	飼育管理実践①【飼育動物の飼育実践】
11回目	飼育管理実践②【飼育動物の飼育実践】
12回目	飼育管理実践③【飼育動物の飼育実践】
13回目	飼育管理実践④【飼育動物の飼育実践】
14回目	前期評価及び振り返り
15回目	前期のまとめ
準備学習 時間外学習	授業終了後、各班報告書の作成
評価方法	授業内実習評価(協調性、コミュニケーション力、発言力、レポート記入力)80%、筆記試験20%

【使用教科書・教材・参考書】

2019年度 シラバス

こども保育&動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	小動物飼育演習 (Practical Small Animal Care)	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	椎場 瞳
専攻名	動物園・動物飼育専攻、動物園公務員専攻、こども保育&動物飼育専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	火曜日1時限or水曜日1or4時限
<p>【授業の学習内容】</p> <p>小動物を中心に体のしくみや生態を理解した上で飼育管理を学ぶ。 接客の基礎とホスピタリティを学ぶ。 動物ふれあいでの接客と動物の扱い方を学ぶ。</p> <p>※実務経験者 サファリパークにて3年間の飼育員経験有。サルや鳥類、クマ等様々な動物の飼育とワラビーの人工保育といった繁殖にも取り組む。</p>							
<p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・接客:相手に合った言葉遣い、姿勢が出来る。 ・ふれあい:ふれあい時の注意点や事故への対応を理解する。 							
授 業 計 画 ・ 内 容							
1回目	ふれあいと接客①【接客について 笑顔、第一印象】						
2回目	ふれあいと接客②【ふれあいについて 動物の扱い方】						
3回目	ふれあいと接客③【ふれあいについて 言葉遣いや姿勢】						
4回目	ふれあいと接客④【衛生面、ふれあい時の事故について】						
5回目	ふれあいと接客⑤【少人数対応と大人数対応】						
6回目	ふれあいと接客⑥【グループワーク どんなふれあい接客をすれば喜ばれるか】						
7回目	中間評価及び振り返り						
8回目	ふれあい実践【グループワーク ふれあいイベントの企画①】						
9回目	ふれあい実践【グループワーク ふれあいイベントの企画②】						
10回目	ふれあい実践【グループワーク ふれあいイベントの企画③】						
11回目	ふれあい実践【グループワーク ふれあいイベントの企画④】						
12回目	ふれあい実践【グループワーク ふれあいイベントの企画⑤】						
13回目	ふれあい実践【グループワーク ふれあいイベントの企画⑥】						
14回目	後期期末評価及び振り返り						
15回目	1年間のまとめ						
準備学習 時間外学習	授業終了後、各班報告書の作成						
評価方法	授業内実習評価(協調性、コミュニケーション力、発言力、レポート記入力)80%、筆記試験20%						
<p>【使用教科書・教材・参考書】 □</p>							

2019年度 シラバス

こども保育&動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	教育原理 (Principle of Education)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	余公 敏子
専攻名	こども保育&動物飼育専攻	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限	後期 金曜日1時限

【授業の学習内容】
 教育の基本的概念や教育の理念を理解すると共に教育の歴史や教育の思想について学ぶ。現代の学校教育に関する社会的、制度的、または経営的事項の基礎的な知識を身に付け、それに関連する課題を理解する。また、学校と地域との連携に関する理解及び学校安全への対応に関する基礎的事項を具体的に学ぶ。

※実務経験者
 幼稚園教諭として37年勤務。

【到達目標】
 教育の基本的概念や教育の本質について、教育の歴史、思想と共に理解することができる。また、教育制度、諸外国の事情、現代の課題等理解できる。
 <具体的な目標>
 目標①教育の諸概念並びに教育の本質及び目標を理解できる。 目標②教育の歴史や思想について理解できる。
 目標③公教育制度の確立について理解できる。 目標④諸外国の教育事情や教育改革の動向を理解できる。
 目標⑤教育の内容やカリキュラム、評価について理解できる。 目標⑥現代社会や幼児教育現場における課題を理解できる。
 目標⑦家庭、地域、小学校との連携について理解できる。

授業計画・内容	
1回目	(目標①)オリエンテーション 第1章 教育とは何か、教育の概念や目的について説明ができる。
2回目	(目標②)第2章 幼児教育思想の歴史について、子ども観の変遷や日本の幼児教育について説明ができる。
3回目	(目標③)第3章 江戸期から大正時代までの教育制度の確立と幼児教育について説明ができる。
4回目	(目標③)第4章 戦時下から戦後への教育制度の成立と保育者養成制度の確立について説明ができる。
5回目	(目標③)第5章 戦後日本の教育法規の基礎と教育行政について説明ができる。
6回目	(目標④)第6章 諸外国における教育・保育について学校体系や乳幼児期の状況、多様な保育実践について説明ができる。
7回目	(目標⑤)第7章 教育の方法の基礎と特に乳幼児期における教育方法の説明ができる。
8回目	(目標⑤)第8章 教育の内容について、様々なカリキュラムや乳幼児期の教育内容について説明ができる。
9回目	(目標⑤)第9章 教育の計画と評価について、カリキュラムマネジメントの説明ができる。
10回目	(目標⑥)第10章 現代社会と生涯学習について、その必要性を理解できる。
11回目	(目標⑥)第11章 教育・保育現場における現代的課題について、教員養成、学校安全への対応、情報化について理解できる。
12回目	(目標⑦)第12章 就学前教育と家庭、小学校、地域社会との連携について説明ができる。
13回目	(目標①) これまでの内容について、レポートにまとめる。
14回目	これまでの内容について理解度を図る。
15回目	(目標⑥)振り返りとまとめを行い、就学前教育における現代の課題について自分なりの意見や考えを述べる事ができる。
準備学習 時間外学習	教科書の該当箇所を予め読んでおいてください。 『幼稚園教育要領解説』『保育所保育指針解説』は、常に手元に置き、いつも読むようにしてください。
評価方法	定期試験(筆記試験)60% 出席・授業中の学習態度20% レポート提出・発表など20%
受講生への メッセージ	講義形式で行うと共に、グループディスカッションを取り入れます。主体的にディスカッションに参加し、自分の考えを言語化してください。全体の場でも積極的に発表してくれることを期待しています。
【使用教科書・教材・参考書】 □ 垂見直樹編著『保育のための教育原理』 ミネルヴァ書房 2019年 文部科学省『幼稚園教育要領解説』 フレーベル館 2019年 厚生労働省『保育所保育指針解説』 フレーベル館 2019年	

2019年度 シラバス

こども保育&動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	教育課程総論 (Curriculum Introduction)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	大久保 淳子
専攻名	こども保育&動物飼育専攻	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	

【授業の学習内容】

幼児教育の基礎・教育改革の方向について、理論的・実践的に学び、教育課程・指導計や現在の教育改革の流れを踏まえて説明する。その後、公立幼稚園教諭としての経験を踏まえて、理論と実践の往還ができるよう、実践事例を紹介しながら、授業をすすめる。
また、幼稚園教育要領の改定について新旧対照表を用いて説明する。

※実務経験者

幼稚園教諭として7年勤務。

【到達目標】

幼児教育の基礎・教育改革の方向について、教育課程・指導計画や現在の教育改革の流れを踏まえて説明することができる。実践事例や幼稚園教育要領の改定のポイントについて説明することができる。

<具体的な目標>

目標①教育改革について説明できる。

目標②改革後の幼稚園教育要領についてポイントを説明できる。

目標③教育課程・指導計画の作成ができる。

授業計画・内容

1回目	(目標①)教育改革(保育行政)について
2回目	(目標①)幼児教育の特質
3回目	(目標①)教育課程の意義と方向
4回目	(目標①)幼稚園・保育所・認定こども園について
5回目	(目標①)教育課程の基準
6回目	(目標①)教育課程の基本
7回目	(目標①)幼児の姿
8回目	(目標②)幼稚園教育の目的と目標
9回目	(目標②)保育所保育の目的と目標
10回目	(目標②)認定こども園の目的と目標
11回目	(目標③)教育課程の編成と指導計画の作成(1)
12回目	(目標③)教育課程の編成と指導計画の作成(2)
13回目	(目標③)教育課程の評価(1)
14回目	(目標③)教育課程の評価(2)
15回目	(目標③)まとめ

準備学習 時間外学習	(目標①)この授業を受けるためには、教育改革について、ニュースや新聞の記事を読む予習が必要です。 (目標②)この授業を受けるためには、幼稚園教育要領・保育所保育指針・保育・教育要領の熟読が必要です。 (目標③)各自作成した指導計画を再度、ねらい・内容などを確認する復習が必要です。
---------------	--

評価方法	実習に必要な理論を定期試験にて到達度の評価を行う。 ●授業内のレポート(30%) ●小テスト(20%) ●定期テスト(50%)
------	--

受講生への メッセージ	様々な幼稚園や保育所・認定こども園の教育課程・指導計画を文献などで調べてみると、義務教育ではない就学前教育は、多様な教育課程があることに気づきます。みなさんが通っていた幼稚園や保育所(園)の教育課程(保育の計画)をホームページで調べてみましょう。
----------------	---

【使用教科書・教材・参考書】 □

教科書:あたらしい幼児教育課程総論 岸井勇雄・横山文樹著 同文書院
教材・参考書:適宜、資料を紹介します。

2019年度 シラバス

こども保育&動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	幼児と人間関係 (Infant and Human Relations)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	大久保 淳子
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	前期
専攻名	こども保育&動物飼育専攻					曜日・時限	月曜日5時限

【授業の学習内容】

まず、「保育内容 人間関係とはなにか」をテーマとして、人間関係の意義やねらい、内容と社会状況について学びます。次に、子どもの発達と人間関係をテーマとして、さまざまな角度から具体的な指導方法について学びます。そして、子どもを取り巻く人間関係や地域社会とのつながりについて俯瞰します。また、子どもたちの「人間関係」の育ちを考えると、子どもの成長・発達と保護者の支援を一体的に取り組んでいく必要があります。以上を通して、公立幼稚園教諭の経験を通して得た知見や実習生が体験したとまどいや問題、気づきなどを実例から学ぶことができるように講義をします。

※実務経験者
幼稚園教諭として7年勤務。

【到達目標】

人間関係の意義やねらい、内容と社会状況、子どもの発達と人間関係について、ねらい・内容・方法を説明できるようにし、子どもを取り巻く人間関係や地域社会とのつながりを理解し、子どもの成長・発達と保護者の支援を一体的に取り組んでいくことが必要性であることを理解し、説明することができる。

<具体的な目標>

- 目標①人間関係の意義やねらい・内容と社会状況について説明ができる。
- 目標②子どもを取り巻く人間関係や地域社会とのつながりを理解し、説明できる。
- 目標③子どもの成長・発達と保護者の支援を一体的に取り組んでいくことの必要性を説明することができる。

授業計画・内容

1回目	オリエンテーション・保育における人間関係について考える。
2回目	(目標①)第1部 保育内容の人間関係とはなにか/(目標①)第1章 保育の基本と領域「人間関係」
3回目	(目標①)第2章 子どもを取り巻く社会の状況/(目標①)第3章 領域「人間関係」の「ねらい及び内容」の取扱い
4回目	(目標②)第4章 0・1・2歳児における人との関わりとの発達と保育者の援助/(目標②)第5章 3・4・5歳児における人との関わりとの発達と保育者の援助
5回目	(目標②)第6章 愛着形成の理論と実際/(目標②)第7章 子どもの自立心
6回目	(目標②)第8章 子どもの自己主張と自己発揮/(目標②)第9章 いざござ・けんかなどのトラブル/(目標②)第10章 共感・思いやり
7回目	(目標③)第11章 道徳性・規範意識/(目標③)第12章 コミュニケーション能力/(目標③)第13章 個と集団の育ち/第14章 子どもを取り巻く人間関係
8回目	まとめ

準備学習
時間外学習

(目標①)この授業は、受講前に教科書を事前に読み、授業内容の把握が必要です。
(目標②)授業後は、教科書を読んで、保育用語の理解・習得をすることが必要です。
(目標③)講義内容を踏まえて、現在の子どもの人間関係・親子関係などを観察してみると、授業内容の理解が深まります。

評価方法

実習に必要な理論と実践について定期テストで確認をする。
●授業内レポート(30%)
●小テスト(20%)
●定期テスト(50%)

受講生への
メッセージ

通学途中で出会う親子の会話などを通して、親子の人間関係を考えてみましょう。

【使用教科書・教材・参考書】 □

教科書:対話的・深い学びの保育内容 人間関係 塚本美知子 編著 萌文書林
教材・参考書:適宜、資料を紹介します。

2019年度 シラバス

こども保育&動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	幼児の心理学 (Infant Psychology)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	高口 知浩
専攻名	こども保育&動物飼育専攻	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	後期
【授業の学習内容】 幼児期を中心に、生涯(特に青年期まで)にわたる変化の理解に向けて、子どもの発達と学習の過程を学ぶことを目的とする。また、多様な子どもたちが多様な環境の中で何を以下に学び・育ち、またいかにそれらの場で「躰き」の体験をするのか、またその場に居合わせる大人としてできることは何か、多様な例を通じて考え進めていく。 ※実務経験者 幼稚園教諭として2年勤務。 保育士として3年勤務。 【到達目標】 心理学の知識を学ぶことを通して、保育において心理学の視点を生かせるようになることを教育目標とする。 人はどのように学習を行っているのかということやどのように人間関係を築いていくのかを学ぶ。また、心理学における様々な研究から得られた知見を学ぶことで、保育の実践の中で工夫や援助ができるようになることを目指す。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション
2回目	心理学の三つの研究法(観察法・実験法・調査法)について説明ができる。
3回目	ピアジェの四つの発達段階について説明できる。
4回目	学習理論・愛着理論について説明できる。
5回目	学習行動の基礎について、説明できる。
6回目	学びの動機付けについて説明できる。
7回目	保育の中で生かす教育心理学について説明できる。
8回目	就学に向けて(保・幼・小連携)について、まとめ
準備学習 時間外学習	・教科書の次回の授業内容を、よく読んでから授業に臨むことが重要です。 ・常に、子どもたちと接する現場を想像しながら、疑問を持って授業に臨むことが、現場で実践できる保育者になる近道です。
評価方法	小テスト20% 筆記試験80%
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】 □	
テキスト:「保育に生かす教育心理学」	

2019年度 シラバス

こども保育&動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	教育方法論 (Education Theory)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	井上 和子
専攻名	こども保育&動物飼育専攻	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	前期
						曜日・時限	木曜日5時限
<p>【授業の学習内容】</p> <p>幼児期の教育現場における教育の方法には、小学校以降の教育とは異なる特性がある。幼児教育(保育)においては、子どもの自発性、主体性を最大限に生かす「環境を通しての教育」「遊びを通しての指導」、そして「一人ひとりの発達の特성에応じた指導」が求められている。その基本原理を習得し、幼児期にふさわしい教育方法についての知識・理論について理解を深め、実践的な指導技術を学び、適切な保育をすることに興味・関心を持つことを目的とする。また、子どもの学びを支える保育者の人間性など保育者の役割の大切さを認識することを目的とする。事例を通して、グループワークの中でディスカッションをしたり、意見をまとめたりしながら、他の人の意見に触れる機会も設ける。</p> <p>※実務経験者 幼稚園教諭として2年勤務。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>幼児教育の方法・技術の基本を学ぶことを目指す。幼児教育(保育)の基本原理である「環境を通しての教育」「遊びを通しての指導」、そして「一人ひとりの発達の特性に 応じた指導」について理解し、学ぶ過程の中で、幼児理解を深めながら、保育者としての姿勢や態度を身に付ける。『幼稚園教育要領』に示された幼児期の教育のねらいを達成するために、指導する事項となる保育内容の指導法を理解する。</p>							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション・講義の概要について
2回目	幼児期にふさわしい教育の方法①
3回目	幼児期にふさわしい教育の方法②
4回目	幼児の主体的な生活を基盤とする保育①
5回目	幼児の主体的な生活を基盤とする保育②
6回目	遊びのなかの学びをはぐくむ保育①
7回目	遊びのなかの学びをはぐくむ保育②
8回目	遊びのなかの学びをはぐくむ保育③
9回目	方法としてのさまざまな保育形態
10回目	保育における評価
11回目	幼児期の教育と小学校教育の連関
12回目	家庭や地域と連携した保育
13回目	保育におけるカウンセリングマインド
14回目	振り返り①
15回目	振り返り②
準備学習 時間外学習	実際に幼稚園・保育所等の実習やボランティアで経験した保育者や乳幼児の姿を通して、望ましい保育者としての資質を学ぶ。
評価方法	定期試験 70%・受講参加度・出席 30%
受講生への メッセージ	一年時の開講なので、初めは難しく感じると思いますが、ここで学ぶことは、これから保育者になるために必要な基礎的な事柄を学びます。幼児教育(保育)とはどういうものか、ここで学んで欲しいと思っています。
【使用教科書・教材・参考書】 □	
『幼児教育の方法』 小田 豊・青井倫子編著 北大路書房	
『幼稚園教育要領解説』 文部科学省 フレーベル館	

2019年度 シラバス

こども保育&動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	教育心理学 (Educational Psychology)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	高口 知浩
専攻名	こども保育&動物飼育専攻	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分 曜日・時限	後期

【授業の学習内容】

幼児期を中心に、生涯(特に青年期まで)にわたる変化の理解に向けて、子どもの発達と学習の過程を学ぶことを目的とする。また、多様な子どもたちが多様な環境の中で何を以下に学び・育ち、またいかにそれらの場で「躰ぎ」の体験をするのか、またその場に居合わせる大人としてできることは何か、多様な例を通じて考え進めていく。

※実務経験者

幼稚園教諭として2年勤務、保育士として3年勤務。

【到達目標】

子ども達の最も近くに居る者の一人として、子どもが学び育つということの意味を学び、子どもへの関わり手としての基礎的な態度を養うことが主題である。そのために①発達論、学習論の基礎的知識を習得し、②幼児期にある子どもの生活を理論的にとらえて支え、学びと探求を十全にてんかいかいさせるための基本的な態度の基礎を形成することを到達目標とします。

授業計画・内容

1回目	発達に対する基礎概念について説明することができる。
2回目	発達論①運動・認知発達について説明ができる。
3回目	発達論②ことばと社会性について説明ができる。
4回目	学びと遊びの環境について説明できる。
5回目	学習の基礎①記憶について、説明できる。
6回目	学習の基礎②学習理論について、説明できる。
7回目	学びや探求を支えるものについて説明できる。
8回目	発達支援の基礎①学び育つ者と教える者との関係論について、説明することができる。
9回目	発達支援の基礎②学びと育ちの多様性について、説明することができる。
10回目	発達支援の基礎③教育と支援について、説明することができる。まとめ

準備学習 時間外学習	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の次回の授業内容を、よく読んでから授業に臨むことが重要です。 ・常に、子どもたちと接する現場を想像しながら、疑問を持って授業に臨むことが、現場で実践できる保育者になる近道です。
---------------	---

評価方法	授業への積極的参加30% レポート課題70%
------	---------------------------

受講生への メッセージ	
----------------	--

【使用教科書・教材・参考書】 □

テキスト:「保育に生かす教育心理学」

2019年度 シラバス

こども保育&動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	保育内容総論 (The Contents Introduction of Childcare)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	余公 敏子
専攻名	こども保育&動物飼育専攻	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	前期
						曜日・時限	スクーリング

【授業の学習内容】
 保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領を通して、就学前保育における養護と教育について具体的な場面を示しながら講義を行う。
 保育内容の歴史を振り返り、現代の保育の在り方等について学びを深める。
 指導計画の立案等実践に役立つことを、全体の場で発表する等、お互いに感想や意見交換を行う。

※実務経験者
 幼稚園教諭として37年勤務。

【到達目標】

目標① 保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の内容が理解できる。
 目標② 保育所の役割や保育の目標、保育方法、環境等について理解できる。
 目標③ 保育内容の史的変遷を辿り、現代の保育内容について理解できる。
 目標④ 保育計画の立案等、実践的に学び、説明ができる。
 目標⑤ 子どもの最善の利益とは何か、説明ができる。
 目標⑥ 家庭や地域との連携、小学校との連携について説明ができる。
 目標⑦ 特別な配慮を必要とする子どもの保育の在り方について説明ができる。

授業計画・内容	
1回目	目標① オリエンテーション 保育所保育指針(幼稚園教育要領)(幼保連携型認定こども園教育・保育要領)に基づく保育の全体構造について理解できる。
2回目	目標② 保育所の役割と社会的責任、養護と教育を一体的に展開させた保育内容の説明ができる。
3回目	目標① 幼児期に育みたい資質・能力と幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿が説明できる。
4回目	目標③ 保育内容の歴史的変遷と社会的背景、現代の保育課題が説明できる。
5回目	目標④ 保育計画について、立案、実践、反省、評価(PDCAサイクル)について説明ができる。
6回目	目標② 環境を通した保育とはどのようなものなのか、グループワークを行う。
7回目	目標⑤ 子どもの最善の利益とは何か、具体的な内容を学び、説明ができる。
8回目	目標⑥ 家庭や地域との連携、小学校との連携を踏まえた保育の実例を学び、説明ができる。
9回目	目標⑦ 特別な配慮を必要とする子どもの保育について考え、説明ができる。
10回目	目標② 保育内容の意味について、ねらいと内容について説明ができる。
準備学習 時間外学習	保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領を予め、読んでおく。 自分が実際に園児に読んで聞かせたい絵本や紙芝居、園児に教えたい折り紙等を予め、考え、準備しておく。 その際、指導案を自分なりに考え、配付用紙に記入しておく。
評価方法	1日目レポート 30% 2日目レポート 30% 授業への参加態度、発表態度 20% 提出物等 20%
受講生への メッセージ	保育の基本を学びます。 保育所保育指針幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領を読んでおいてください。授業を受ける際、理解度が違います。

【使用教科書・教材・参考書】 □

厚生労働省『保育所保育指針解説』フレーベル館 2018年
 文部科学省『幼稚園教育要領解説書』フレーベル館 平成30年
 内閣府 文部科学省 厚生労働省『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』フレーベル館 平成30年

2019年度 シラバス

こども保育&動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	人間関係(指導法) (Teaching Human Relations)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	大久保 淳子
専攻名	こども保育&動物飼育専攻	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	前期
						曜日・時限	スクーリング

【授業の学習内容】

子どもの人間関係形成をめぐる諸課題について理解を深め、領域「人間関係」の内容および意義について学習する。また、子どもが、単に集団にうまく適応することのみを問題にするものではなく、「他者理解」を通して人の豊かなかかわりを経験することの意義を学ぶ。人との豊かなかかわりを育てる保育者としての役割について学習する。
 以上を通して、公立幼稚園教諭の経験を通して得た知見や実習生が体験したとまどいや問題、気づきなどを事例から学ぶことができるように講義をします。

※実務経験者
幼稚園教諭として7年勤務。

【到達目標】

領域「人間関係」に関する教育・保育内容及び指導に関する知識・技術を習得する。
 子どもの発達を領域「人間関係」の観点で捉え、子どもの理解を深める。

授業計画・内容

1回目	オリエンテーション・保育における人間関係について考える。
2回目	領域「人間関係」の観点について、説明できる。
3回目	領域「人間関係」の狙いと内容とは何かについて、説明できる。
4回目	自己の形成と他者理解について、説明できる。
5回目	集団における自己の発達について、説明できる。
6回目	社会性の発達と遊びについて、説明できる。
7回目	協力・競争・排除について、説明できる。
8回目	思いやりと道徳性の芽生えと集団生活に必要な規範について、説明できる。
9回目	子どものコミュニケーションについて、説明できる。
10回目	保育者の役割と指導について、説明できる。まとめ

準備学習 時間外学習	この授業は、受講前に教科書を事前に読み、授業内容の把握が必要です。 授業後は、教科書を読んで、保育用語の理解・習得をすることが必要です。 講義内容を踏まえて、現在の子どもの人間関係・親子関係などを観察してみると、授業内容の理解が深まります。
評価方法	実習に必要な理論と実践について定期テストで確認をする。 <ul style="list-style-type: none"> ●授業内レポート(30%) ●小テスト(20%) ●定期テスト(50%)
受講生への メッセージ	通学途中で出会う親子の会話などを通して、親子の人間関係を考えてみましょう。

【使用教科書・教材・参考書】 □

教科書:対話的・深い学びの保育内容 人間関係 塚本美知子 編著 萌文書林
 教材・参考書:適宜、資料を紹介します。

2019年度 シラバス

こども保育&動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	音楽 I (Music Theory I)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	村中 千秋
専攻名	こども保育&動物飼育専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜日2時限
【授業の学習内容】 ピアノを弾くために基礎習得に主眼を置き、指の為のテクニック、子どものうたの伴奏法を学ぶ。また、読譜力が身につくよう、ドリルトレーニングを行う							
【到達目標】 保育者、教育者として必要な基礎的なピアノ演奏技術、読譜力を習得する。また、子どものうたを簡易伴奏で弾くことができる							

授業計画・内容				
1回目	授業の説明	楽譜の使い方	読譜トレーニング	楽典ドリル
2回目	基礎練習曲 ①	季節のうた簡易伴奏	読譜トレーニング	楽典ドリル
3回目	基礎練習曲 ②	季節のうた簡易伴奏	読譜トレーニング	楽典ドリル
4回目	基礎練習曲 ③	季節のうた簡易伴奏	読譜トレーニング	楽典ドリル
5回目	基礎練習曲 ④	季節のうた簡易伴奏	読譜トレーニング	楽典ドリル
6回目	基礎練習曲 ⑤	季節のうた簡易伴奏	読譜トレーニング	楽典ドリル
7回目	子どものうた簡易伴奏	季節のうた簡易伴奏	読譜トレーニング	楽典ドリル
8回目	子どものうた簡易伴奏	季節のうた簡易伴奏	読譜トレーニング	楽典ドリル
9回目	子どものうた簡易伴奏	季節のうた簡易伴奏	読譜トレーニング	楽典ドリル
10回目	子どものうた簡易伴奏	季節のうた簡易伴奏	読譜トレーニング	楽典ドリル
11回目	試験曲決め	試験曲練習	読譜トレーニング	楽典ドリル
12回目		試験曲練習	読譜トレーニング	楽典ドリル
13回目		試験曲練習	読譜トレーニング	楽典ドリル
14回目		試験曲練習	読譜トレーニング	楽典ドリル
15回目	振り返り			
準備学習 時間外学習	予習、復習を行うこと			
評価方法	実技試験 80% 授業態度 20%			
受講生への メッセージ	実技は練習あるのみ			
【使用教科書・教材・参考書】 □				

2019年度 シラバス

こども保育&動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	音楽 I (Music Theory I)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	村中 悦子 村中 千秋
専攻名	こども保育 & 動物飼育専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
<p>【授業の学習内容】</p> <p>前期から引き続き、ピアノを弾くための基礎、子どもの歌の伴奏法を学ぶ。 個人レッスン形態で授業を行い、個人の進度に合わせて学習を進めていく</p>							
<p>引き続き保育者、教育者として必要な基礎的なピアノ演奏技術、読譜力を習得する</p>							
<p>授業計画・内容</p>							
1回目	前期に学んだ曲の復習						
2回目	子どもの歌	季節の歌	(春)				
3回目	子どもの歌	季節の歌	(春)				
4回目	子どもの歌	季節の歌	(春)				
5回目	子どもの歌	季節の歌	(夏)		合唱		
6回目	子どもの歌	季節の歌	(夏)		合唱		
7回目	子どもの歌	季節の歌	(夏)		合唱		
8回目	子どもの歌	季節の歌	(夏)		合唱		
9回目	子どもの歌	季節の歌	(夏)		合唱		
10回目	子どもの歌	季節の歌	(夏)		合唱		
11回目	子どもの歌	季節の歌	(冬)		試験決め		
12回目	子どもの歌	季節の歌	(冬)		試験曲練習		
13回目	子どもの歌	季節の歌	(冬)		試験曲練習		
14回目	子どもの歌	季節の歌	試験曲練習				
15回目	振り返り						
準備学習 時間外学習	予習、復習						
評価方法	実技試験(80%)、授業態度(20%)						
受講生への メッセージ	とにかく練習してください						
<p>【使用教科書・教材・参考書】 <input type="checkbox"/></p>							

2019年度 シラバス

こども保育&動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	保育教材 I (Childcare Teaching Materials)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	森 久美子
専攻名	こども保育&動物飼育専攻	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜日5時限

【授業の学習内容】
 子ども文化財(絵本・紙芝居・素話・手遊び・ペープサート・パネルシアター・エプロンシアター・人形遊び・伝承遊び)のそれぞれの特徴を知ること、それを制作し楽しみながら実践することができる。

※実務経験者
 保育士として9年勤務。

【到達目標】
 ・手遊び・ペープサート・パネルシアター・エプロンシアター・人形遊び・伝承遊び)を作って演じることを通して、保育者に必要な感性や表現力を高めることができる。
 目標①手遊びの実演一つでも、保育指導の基本構成である、導入・展開・まとめを行いながら実演することができる。
 目標②子どもの文化財について、特徴を知ることができる。
 目標③子ども文化財の中から、メイン活動を決め、その部分実習指導案を作成することができる。
 目標④子ども文化財に触れ、実演のポイントや展開を工夫し、実演することができる。

授業計画・内容

1回目	授業の概要を知り、授業の目的・目標の設定について、オリエンテーションを行う。手遊びを実演する。
2回目	絵本・紙芝居の紹介と読み聞かせ方のポイントを知ることができる。手遊びを実演する。
3回目	保育教材(パネルシアター・エプロンシアター・ペープサート)の紹介と演じ方のポイントを知ることができる。手遊びを実演する。
4回目	新聞紙・広告の素材の特徴を知り、新聞紙遊びに展開することができる。手遊びを実演する。
5回目	折り紙の素材の特性を知り、季節にあった折り紙制作に展開することができる① 手遊びを実演する。
6回目	折り紙の素材の特性を知り、季節にあった折り紙制作に展開することができる② 手遊びを実演する。
7回目	折り紙の素材の特性を知り、季節にあった折り紙制作に展開することができる③ 手遊びを実演する。
8回目	ペープサートの素材を知り、お話や歌あそびで展開し、ペープサートを制作することができる① 手遊びを実演する。
9回目	ペープサートの素材を知り、お話や歌あそびで展開し、ペープサートを制作することができる② 手遊びを実演する。
10回目	ペープサートの素材を知り、お話や歌あそびで展開し、ペープサートを制作することができる③ 手遊びを実演する。
11回目	ペープサートの素材を知り、お話や歌あそびで展開し、ペープサートを制作することができる④ 手遊びを実演する。
12回目	部分実習指導案の構成(導入・展開・作業・まとめ)を知り、ペープサートをメインにした指導案を作成することができる①
13回目	部分実習指導案の構成(導入・展開・作業・まとめ)を知り、ペープサートをメインにした指導案を作成することができる②
14回目	部分実習指導案の構成(導入・展開・作業・まとめ)を知り、ペープサートをメインにした指導案を作成することができる③
15回目	ペープサートを実演することができる。

準備学習
 時間外学習
 身近な保育教材について興味を持つこと。
 身近な廃材に関心を持ち、保育教材に使えるものはないか考えること。

評価方法
 実技試験(60%)、課題提出(30%)、授業態度(10%)

受講生への
 メッセージ
 保育教材(パネルシアター・エプロンシアター・ペープサート)に関心を持ち、自分の保育技術の向上に役立てられるようにしましょう。

【使用教科書・教材・参考書】 □
 幼稚園・保育所・児童福祉施設等の実習ガイド:同文書院
 たのしい手あそびうた:ナツメ出版

2019年度 シラバス

こども保育&動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	保育実践事例 (Childcare Case Examples)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	森 久美子
専攻名	こども保育&動物飼育専攻	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	

【授業の学習内容】
 幼稚園・保育所における日々の保育の実践事例をもとに、保育の現場について考察・検討を行い、事例に対する様々な保育観を捉えることができるようになる。
 ※実務経験者
 保育士として9年勤務。

【到達目標】
 幼稚園・保育所における日々の保育実践事例をもとに保育現場についての考察・検討を行う。
 目標①幼稚園・保育所・認定こども園・児童福祉施設の実際の内容について理解することができる。
 目標②幼稚園・保育所・認定こども園・児童福祉施設の実習日誌の書き方について理解することができる。
 目標③幼稚園・保育所・認定こども園・児童福祉施設の部分実習について立案することができる。

授業計画・内容	
---------	--

1回目	授業の概要を知り、授業の目的・目標の設定について、オリエンテーションを行う。
2回目	実習の4段階、実習生とは、実習生の心得を理解する。
3回目	幼稚園・保育所・認定こども園・施設について理解する。
4回目	実習日誌の書き方(1)～子どもの活動・時間について～
5回目	実習日誌の書き方(2)～保育者の援助・かかわりの留意点について～
6回目	実習日誌の書き方(3)～環境の構成・準備について～
7回目	実習課題の立て方について(1)
8回目	実習課題の立て方について(2)
9回目	部分実習の指導案作成について(1)
10回目	部分実習の指導案作成について(2)
11回目	指導案に基づいた部分実習を実際に見て学び、自分で立案する(1)
12回目	指導案に基づいた部分実習を実際に見て学び、自分で立案する(2)
13回目	指導案に基づいた部分実習を実際に見て学び、自分で立案する(3)
14回目	指導案に基づいた部分実習を実際に見て学び、自分で立案する(4)
15回目	指導案に基づいた部分実習を実際に見て学び、自分で立案する(5)

準備学習 時間外学習	資格必修の教育実習・保育実習ⅠⅡに向けて、実践的学習を行います。
---------------	----------------------------------

評価方法	指導案作成・提出(80%)、授業態度(20%)
------	-------------------------

受講生への メッセージ	
----------------	--

【使用教科書・教材・参考書】 □
 幼稚園・保育所・児童福祉施設等の実習ガイド: 同文書院
 たのしい手あそびうた: ナツメ出版

2019年度 シラバス

こども保育&動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	コンピュータ演習 (Practice of Computer)	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	井口恵美里
専攻名	各専攻1年生	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	月3・4・5 金2 木3 金3・4・5 火1・2 水3・4 上記のいずれか

【授業の学習内容】

業種を問わず必要とされる「コンピュータの操作」を勉強していく
 前期は「Word」を使い「レポート」や「写真を貼った文章」が作れるように勉強していく。また、安全にインターネットを利用できるように「ITリテラシー」も勉強する
 前期・後期をまたぎ「PowerPoint」でスライド作成の勉強をする。
 基本的な授業の進め方は、今日勉強する事の説明→教科書の説明→プロジェクターで実演→PCで操作とする。

※実務経験者

滋慶学園各校でコンピュータ授業講師(20年)

【到達目標】

教科書を読みながら、書かれている操作が出来るようになる
 Wordを使ってレポート作成が出来るようになる
 安全にインターネットを利用できるようになる
 「We are ECO」のスライドが作れるようになる

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	USBメモリー紛失対策・USBメモリーの使い方等／ITリテラシー①
2回目	ITリテラシー②
3回目	Wordの基本操作(主に文章入力)
4回目	Wordの基本操作(主に文章編集)
5回目	Wordの基本操作(主に写真を貼り付けた文章の作成)
6回目	Wordの基本操作(主に図形を描画して色・線種を変更する)
7回目	Wordの基本操作(課題提出)
8回目	Word中級編(主に表を挿入し読みやすい表に整形する)
9回目	Word中級編(文章作成の役に立つ機能を勉強する)
10回目	Word中級編(図+文字で他人の関心を引く文章を作成する)
11回目	Wordの応用(計算式を入力してみる)
12回目	Wordの応用(レポート作成に便利な機能を勉強する)
13回目	Wordの応用(繰り返し利用する文章を簡単に作る方法を勉強する)
14回目	期末評価及び振り返り
15回目	PowerPoint基礎(文字だけもの・画像を入れたもの・グラフ等を入れたもの)

準備学習 時間外学習	
---------------	--

評価方法	授業内評価: 60% 期末テスト: 40% ※提出作品(データで提出)
------	--

【使用教科書・教材・参考書】 □

COMPUTER BASIC Word
 COMPUTER BASIC Excel

2019年度 シラバス

こども保育&動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	コンピュータ演習 (Practice of Computer)	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	井口恵美里
専攻名	各専攻1年生	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	月3・4・5 金2 木3 金3・4・5 火1・2 水3・4 上記のいずれか

【授業の学習内容】

業種を問わず必要とされる「コンピュータの操作」を勉強していく
 後期は「Excel」を使い「計算式が入った表」や「読みやすいグラフの作り方」を勉強していく
 Excelへの苦手意識を少しでも減らす講義にする
 基本的な授業の進め方は、今日勉強する事の説明→教科書の説明→プロジェクターで実演→PCで操作とする。
 ※実務経験者
 滋慶学園各校でコンピュータ授業講師(20年)

【到達目標】

Excelへの苦手意識を少しでも減らす
 教科書を読みながら、書かれている操作が出来るようになる
 Excelを使って計算式が入った表やグラフが作成できるようにする
 「We are ECO」のスライドを作成する

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	PowerPoint基礎(印刷、スライドマスター、切り替え効果、アニメーション)
2回目	PowerPoint課題提出
3回目	Excelの基礎①
4回目	Excelの基礎②
5回目	Excelの基礎③
6回目	Excelの基礎④
7回目	Excel中級編①
8回目	Excel中級編②
9回目	Excel中級編③
10回目	Excel中級編④
11回目	Excelの応用①
12回目	Excelの応用②
13回目	Excelの応用③
14回目	期末評価及び振り返り
15回目	まとめ

準備学習
時間外学習

評価方法

授業内評価:60%
 期末テスト:40% ※提出作品(PowerPoint作品提出・Excel作品提出)

【使用教科書・教材・参考書】 □

COMPUTER BASIC Word
 COMPUTER BASIC Excel

2019年度 シラバス

こども保育&動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	英会話 (English Conversation)	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	スティーブン・ムラシゲ
専攻名	動物園・動物飼育専攻、動物園公務員専攻、こども保育&動物飼育専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	水曜日1or2時限

【授業の学習内容】

外国の方と接する際、恥ずかしがらずに挨拶や基本的な事を英語で話し、更に自分から話しかけることができるよう学習する。
ただ座って聞くだけではなく、アクティビティに参加しながら体感的に学んでいく。

※実務経験者

2000年より日本にて教授をしている。小学、中学、高等学校等で英会話の教授経験あり。

【到達目標】

- ・日常生活の様々な場面で使える頻度の高い英語の文法を会話に当てはめて使えるようになること。
- ・授業でのコミュニケーションな会話の実践を通して、相手の会話をすぐに理解し、積極的な対応ができる技術を身につけること(自信を持って尚且つ丁寧に相手の話を聞き、返答ができるようになること)

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	L. 1	イントロダクション、プレテスト、初対面のあいさつ～お別れまでの会話をする。
2回目	L. 3	パーソナルインフォメーションに関する一般的な質問をする。
3回目	L. 6	好き・嫌い等の好みについての会話をする。
4回目	L. 8	意見を尋ねる/意見を述べる。
5回目	L. 9 & 10	家族や性格について話す。
6回目	L. 11	人を褒める&褒められた際の会話表現 (衣服など)
7回目	L. 7, 13	時間について表現する。日々の習慣について話す。
8回目	L. 14	補足質問をする。
9回目	L. 19 & 20	道案内をする・場所を尋ねる。
10回目	L. 21 & 23	数やお金の数え方・価格や頻度についての質問や受け答えをする。
11回目	L. 28	料理の味や材料について&レストランでのオーダー方法を学ぶ。
12回目	L. 29 & 30	過去の出来事について話す&質問する。
13回目	L. 32	未来の予定について話す。
14回目	期末評価及び振り返り①	
15回目	振り返り②	

準備学習 時間外学習	事前に教科書を読んでおきましょう。
---------------	-------------------

評価方法	学期末に筆記試験あり(定期試験100%)
------	----------------------

【使用教科書・教材・参考書】

Speak Now I

2019年度 シラバス

こども保育&動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	キャリアプランニング I (Carrier planning-I)	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	椎場 瞳
専攻名	動物園・動物飼育専攻、動物園公務員専攻、こども保育&動物飼育専攻	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	金曜日1時限

【授業の学習内容】

本科目は、様々な科目で学んだ専門力を総合的に発揮するために、自分自身の将来の進路並びに、自分らしく生きる道を見つけるために、主体的に考え行動し本校で何を学び、学校生活をどのように過ごせばよいのかという「気づき」を与え、キャリア教育の一環として、クラスメイト・担任とのコミュニケーションを図り、社会人となる心構えやホスピタリティ(思いやりの心)を理解し、セルフマネジメント(自己管理)とチームマネジメント(協働作業)が実践的にできるようになるための科目である。なお、より本科目を充実したものにするために、夢をかなえ動物業界で活躍する先輩たちの話を聞く「OB・OGセミナー」、動物業界の方から動物業界が求める人物像について学ぶ「合同企業説明会を別途開催すると共に、視野を広げて主体性を身につけるために、「海外実学研修」や「動物施設見学」などの校外学習を実施する。

【到達目標】

1. セルフマネジメント(自己理解)を実践できる
2. チームマネジメント(協働作業)を実践し、集団での役割を果たすことができる
3. 自己の働く意義(勤労観・職業観)を説明できる
4. 目指す動物業界を理解し、その特徴を説明できる
5. 自己実現(夢をかなえる)のための目標設定をし実践できる

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	集団(クラス)づくりの理解と実践 (集団の中での自己の学校生活の土台づくりを行う)
2回目	「集団での役割」の理解と実践 ① <学園祭準備活動> ・ 働く意義(勤労観・職業観)を理解し考える
3回目	「集団での役割」の理解と実践 ② <学園祭準備活動> ・ 夢をかなえた先輩たちの「行動の原則」を学ぶ
4回目	「集団での役割」の理解と実践 ③ <学園祭準備活動> ・ キャリアデザイン ① 自己の過去を振り返る(自己理解)
5回目	「集団での役割」の理解と実践 ④ <学園祭準備活動>
6回目	グループワーク:動物業界が求める人材を理解し、自己の目標を設定する
7回目	グループワーク:動物業界研究と自己の進路を考える ①
8回目	グループワーク:人としての「在り方・生き方」を考え、自己の進むべき方向を定める
9回目	グループワーク:希望進路を達成するための人間力を理解し、自己の現状を振り返る
10回目	グループワーク:夢への一歩を踏み出す勇気を身につける
11回目	グループワーク:動物業界研究と自己の進路を考える ②
12回目	グループワーク:セルフマネジメント(自己理解)とチームマネジメント(協働作業)の振り返り
13回目	グループワーク:夏休みの取り組みの振り返りとこれからの目標を設定する
14回目	「集団での役割」の理解と実践 ① <スポーツフェスタ準備活動> ・ キャリアデザイン ② 自分らしさ、自己の強みをまとめる(自己理解)
15回目	前期振り返りと後期に向けての準備

準備学習 時間外学習	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日々の学校生活を学習ポートフォリオに書く 2. OB・OGセミナー、行動企業説明会、海外実学研修、動物施設での校外学習に参加する 3. 事前課題など各種レポートを書く
---------------	--

評価方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 【チームマネジメント(協働作業)】 集団(クラス)での役割の理解と実践 (40%) 2. 【セルフマネジメント(自己理解)】 学習ポートフォリオの提出 (30%) 3. 【セルフマネジメント(自己理解)】 事前課題等の各種レポート提出 (30%)
------	--

【使用教科書・教材・参考書】 □

2019年度 シラバス

こども保育&動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	キャリアプランニング I (Carrier planning-I)	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	椎場 瞳
専攻名	動物園・動物飼育専攻、動物園公務員専攻、こども保育&動物飼育専攻	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	金曜日1時限

【授業の学習内容】

本科目は、様々な科目で学んだ専門力を総合的に発揮するために、自分自身の将来の進路並びに、自分らしく生きる道を見つけるために、主体的に考え行動し本校で何を学び、学校生活をどのように過ごせばよいのかという「気づき」を与え、キャリア教育の一環として、クラスメイト・担任とのコミュニケーションを図り、社会人となる心構えやホスピタリティ(思いやりの心)を理解し、セルフマネジメント(自己管理)とチームマネジメント(協働作業)が実践的にできるようになるための科目である。なお、より本科目をを充実したものにするために、夢をかなえ動物業界で活躍する先輩たちの話を聞く「OB・OGセミナー」、動物業界の方から動物業界が求める人物像について学ぶ「合同企業説明会を別途開催すると共に、視野を広げて主体性を身につけるために、「海外実学研修」や「動物施設見学」などの校外学習を実施する。

【到達目標】

1. セルフマネジメント(自己理解)を実践できる
2. チームマネジメント(協働作業)を実践し、集団での役割を果たすことができる
3. 履歴書作成ができるようになる
4. 立志作文が書くことができるようになる
5. 2年次の就職活動のスケジュールが準備できている

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	自己理解 ① 働く意義(勤労観・職業観)を理解し考える
2回目	自己理解 ② 履歴書作成 <自己PR・趣味特技>
3回目	自己理解 ③ 履歴書作成 <専門分野・関心事>
4回目	自己理解 ④ 履歴書作成 <志望動機・立志作文>
5回目	企業研究 ① 合同企業説明会に向けての準備 ①
6回目	企業研究 ② 合同企業説明会に向けての準備 ②
7回目	企業研究 ③ 合同企業説明会の振り返り
8回目	社会人準備 ① 夢をかなえた先輩たちの「行動の原則 + α」を学ぶ
9回目	社会人準備 ② マネー教育(収入と支出のバランスを学ぶ)
10回目	社会人準備 ③ 社会保険や税の仕組みなどを学ぶ
11回目	「集団での役割」の理解と実践 ① <WeareECO準備活動>・自己理解とインターンシップ準備 ①
12回目	「集団での役割」の理解と実践 ② <WeareECO準備活動>・自己理解とインターンシップ準備 ②
13回目	「集団での役割」の理解と実践 ③ <WeareECO準備活動>・自己理解とインターンシップ準備 ③
14回目	「集団での役割」の理解と実践 ④ <WeareECO準備活動>・自己理解とインターンシップ準備 ④
15回目	後期振り返りと2年次に向けての準備

準備学習 時間外学習	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日々の学校生活を学習ポートフォリオに書く 2. OB・OGセミナー、行動企業説明会、海外実学研修、動物施設での校外学習に参加する 3. 事前課題など各種レポートを書く
---------------	--

評価方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 【チームマネジメント(協働作業)】 集団(クラス)での役割の理解と実践 (40%) 2. 【セルフマネジメント(自己理解)】 学習ポートフォリオ (30%) 3. 【セルフマネジメント(自己理解)】 事前課題等の各種レポート (30%)
------	---

【使用教科書・教材・参考書】 □

2019年度 シラバス

こども保育&動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	プレゼンテーション I (Presentation I)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	田代 マキ
専攻名	動物園・動物飼育専攻、動物園公務員専攻、こども保育&動物飼育専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	月曜日3or4or5時限or水曜日5時限

【授業の学習内容】

社会人としての基本【挨拶】【表情】【身だしなみ】【言葉遣い】【態度】などを身につけて、社会人基礎力の向上を目指す。

※実務経験者

キャリアカウンセラー、精神保健福祉士。学校関係へのキャリア教育や企業研修を通して社会人基礎力の授業や管理職研修を行い、就職支援からリーダーシップの在り方まで職場の心と環境を整える活動を展開している。

【到達目標】

グループワークを主として協調性とは何かを学ぶ。社会人の基本を自己確認、自己分析する。

授業計画・内容

1回目	声の心理作用について、他己紹介準備
2回目	他己紹介
3回目	非言語を学ぶ
4回目	言語ワーク① グループカとは
5回目	言語ワーク② グループカとは
6回目	非言語ワーク
7回目	基礎知識を確認する
8回目	適性検査について
9回目	グループワーク(知識編)
10回目	一般常識、グループワーク①
11回目	一般常識、グループワーク②
12回目	グループワーク(専門+一般常識テスト)
13回目	PREP法での夏休み報告
14回目	グループプレゼンテーション準備
15回目	グループプレゼンテーション発表
準備学習 時間外学習	課題により準備学習あり
評価方法	・プレゼン力:30% ・傾聴力:40% ・筆記試験:30%

【使用教科書・教材・参考書】

2019年度 シラバス

こども保育&動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	プレゼンテーション I (Presentation I)	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	田代 マキ
専攻名	動物園・動物飼育専攻、動物園公務員専攻、こども保育&動物飼育専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
						曜日・時限	月曜日3or4or5時限or水曜日5時限

【授業の学習内容】

社会人としての基本【挨拶】【表情】【身だしなみ】【言葉遣い】【態度】などを身につけて、社会人基礎力の向上を目指す。

※実務経験者

キャリアカウンセラー、精神保健福祉士。学校関係へのキャリア教育や企業研修を通して社会人基礎力の授業や管理職研修を行い、就職支援からリーダーシップの在り方まで職場の心と環境を整える活動を展開している。

【到達目標】

- ・グループの中の個の役割を果す努力をする。
- ・どうすれば達成可能なのかを考え実行する。
- ・キャリアデザインを計画する。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	電話対応
2回目	一般常識・スピーチ練習
3回目	自己PRの作り方
4回目	自己PR・メラビアンの法則
5回目	設問への取り組み、答え方
6回目	一問一答
7回目	アサーティブワーク
8回目	自己確認の行い方
9回目	リフレーミング 口調の持つ効果
10回目	リフレーミング グループワーク
11回目	今までの学習確認、一年間の学び文章作成、文章の作り方
12回目	他己紹介
13回目	一般常識・グループワーク①
14回目	一般常識・グループワーク②
15回目	発言練習 グループディスカッションの進め方

準備学習
時間外学習

評価方法

- ・プレゼン力:30%
- ・傾聴力:40%
- ・筆記試験:30%

【使用教科書・教材・参考書】 □

2019年度 シラバス

こども保育&動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	コミュニケーションスキルアップ (Communication Skills)	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	有限会社セレーノ・コーポレーション
専攻名	動物園・動物飼育専攻、動物園公務員専攻、こども保育&動物飼育専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	金曜日1時限or4時限

【授業の学習内容】

社会人として通用するコミュニケーション力を年間を通じ身に付ける事で、学生生活、就職活動、卒業後の社会生活を円滑に送る事ができ、また人生をより豊かにする機会も増える。この科目ではビジネス現場で求められるコミュニケーションや対応、言葉遣いを実践しながら学ぶ。

※実務経験者

各種セミナー(話し方、傾聴、新入社員研修等)を通して人材育成事業に取り組む企業より講師を招き、授業を実施する。

【到達目標】

12月に行われるコミュニケーションスキルアップ検定の合格を目指す。
豊かな人生を送るためにコミュニケーションスキルを発揮できるようになる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	授業の進め方、オリエンテーション(自己紹介)、コミュニケーションの定義【P9～】
2回目	第一印象(コミュニケーションの定義、メラビアンの法則、笑顔の作り方)【P14～】 基本的対話スキル、会話のプロセス
3回目	基本的対話スキル「話し方」【P18～】
4回目	基本的対話スキル「聴き方」【P23～】
5回目	基本的対話スキル「グループでの会話」【P34～】
6回目	ロープレ: 情報共有、整理・集約のゲーム①、中間試験対策
7回目	中間評価及び振り返り、自己表現スキル「挨拶」「自己表現」【P42～】
8回目	自己表現スキル「上手な頼み方、断り方」「自己主張」【P46～】
9回目	自己表現スキル「報連相」「会議・ミーティング」【P60～】
10回目	自己表現スキル「アンガーマネジメント」【P80～】
11回目	社会的スキル「基本的な社会的スキル」【P94～】
12回目	社会的スキル「挨拶」「敬語」「電話対応」【P96～】
13回目	前期まとめ
14回目	前期評価及び振り返り
15回目	後期の授業の進め方

準備学習
時間外学習

中間試験20点、期末試験80点=100点

評価方法

【使用教科書・教材・参考書】 □

コミュニケーションスキルアップ検定(JESC)

2019年度 シラバス

こども保育&動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	コミュニケーションスキルアップ (Communication Skills)	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	有限会社セレーノ・コーポレーション
	専攻名	動物園・動物飼育専攻、動物園公務員専攻、こども保育&動物飼育専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時限

【授業の学習内容】

社会人として通用するコミュニケーション力を年間を通じ身に付ける事で、学生生活、就職活動、卒業後の社会生活を円滑に送る事ができ、また人生をより豊かにする機会も増える。この科目ではビジネス現場で求められるコミュニケーションや対応、言葉遣いを実践しながら学ぶ。

※実務経験者

各種セミナー(話し方、傾聴、新入社員研修等)を通して人材育成事業に取り組む企業より講師を招き、授業を実施する。

【到達目標】

12月に行われるコミュニケーションスキルアップ検定の合格を目指す。
豊かな人生を送るためにコミュニケーションスキルを発揮できるようになる。

授 業 計 画 ・ 内 容

1回目	ロープレ:ビジネス電話検定、電話対応ゲーム
2回目	社会的スキル「接客」「訪問」【P105～】
3回目	社会的スキル「謝罪」【P112～】
4回目	ロープレ:接客、訪問、名刺交換
5回目	社会的スキル「ビジネス文書」「メール」「FAX」「SNS」【P116～】
6回目	中間まとめ
7回目	中間評価及び振り返り、サービスマインドとは
8回目	DVD鑑賞 マナーの本質「相手を思いやる心」
9回目	サービスマインド「サービスとは」「サービスの心得」【P126～】
10回目	サービスマインド「サービス基本要素」【P132～】
11回目	ロープレ:ビジネスシュミレーションゲーム(敬語・電話対応・訪問・接客)
12回目	謝罪(謝る、お詫びする) マナーを意識した行動
13回目	後期まとめ
14回目	後期末評価及び振り返り、ビジネスシュミレーションワーク
15回目	1年間の総復習、ロープレ

準備学習 時間外学習	
---------------	--

評価方法	中間試験20点、期末試験80点=100点
------	----------------------

【使用教科書・教材・参考書】 □

コミュニケーションスキルアップ検定(JESC)

2019年度 シラバス

こども保育&動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	動画制作 (Video Production)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	田中 守 or 丸田 和明
専攻名	動物園・動物飼育専攻、動物園公務員専攻、こども保育&動物飼育専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	水曜日3時限or金曜日2時限
【授業の学習内容】							
SNS時代のWeb広告戦略概論、動画制作の座学と実践							
※実務経験者 田中守:1991年より映像プロダクションを運営する。NHK関連の番組ディレクターとして従事、官公庁ビデオ制作にも携わる。現在は動画制作講師、動画制作コンサルタントとして活動する講師が授業を行う。 丸田 和明:熊本大学入学後、サークルチラシ作製などを行い興味を持つ。その後フリーで活躍、商品販売ページ(セールスライター)の作成やブログ・メルマガを用いたプロモーションセールスなどを行う。近年は、SNSや動画の指導、コピーライティング指導をする講師が授業を行う。							
【到達目標】							
Web広告の中でも動画を使った広告戦略を学び、実際に企画から撮影・編集を行って一人1作品を完成させる。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション 授業説明など
2回目	SNS時代の広告戦略概論 (Web広告とは?なぜ今、動画なのか?科学でも証明される動画の優位性について学ぶ)
3回目	動画制作の基礎(動画制作の手順を学ぶ。動画作品の良し悪しを決める企画と構成について学ぶ。観てもらえるもらえる動画とスルーされる動画の違い)
4回目	企画・構成ワーク(一人1テーマを決めて、企画・構成のワークを行う。自分のテーマに沿って、誰をターゲットに、何のために、何を、どのように見せるのか?を決める。)
5回目	撮影の3要素【カメラワーク】(カメラワークの3要素「構図、ポジション、アングル」の効果について学ぶ。視聴者に作者の意図を伝えるカメラワークを学ぶ。)
6回目	撮影の3要素【照明・音声】(照明の基本=3点照明「キーライト、フィルライト、バックライト」について学ぶ。音の大切さを知る。(音の性質とマイクの特性))
7回目	撮影実習 (実際に撮影をして、基本姿勢やカメラワークの練習、照明、マイクによる実践を学ぶ。)
8回目	動画編集に慣れよう (動画編集ソフトの基本操作を学ぶ。撮影した動画を使って編集の実践を行う。静止画像や動画ファイルの種類と用途、加工方法を学ぶ。)
9回目	音編集/MA~完成 (音編集ソフトを使って音声編集を行う。音声ファイルの種類と用途について学ぶ。現場音やBGM、効果音、ナレーションなどの音を加工編集して、映像と合成して動画を完成させる。)
10回目	動画の保存と公開 (画像や動画、音声のファイル管理について学ぶ。用途別の動画書き出し方と公開方法を学ぶ。著作権や肖像権について学ぶ。)
11回目	作品制作実践① (一人1作品を制作実践する。)
12回目	作品制作実践② (一人1作品を制作実践する。)
13回目	作品発表及び鑑賞会① (一人ずつ自分の作品を発表する。人の作品を鑑賞することによって自分の作品の良いところと欠点に気づくことも学習)
14回目	作品発表及び鑑賞会② (一人ずつ自分の作品を発表する。人の作品を鑑賞することによって自分の作品の良いところと欠点に気づくことも学習)
15回目	総評/まとめ (全ての作品を鑑賞しての意見交換と総評 ※スマホだけで作る動画制作を学ぶ)
準備学習 時間外学習	
評価方法	授業内評価 20% ・期末試験(作品評価) 80%
【使用教科書・教材・参考書】 □	
動画によるWeb広告戦略 (2019年度版)	

2019年度 シラバス

こども保育&動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	健康(指導法) (Teaching Health)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	山田 大介
専攻名	こども保育&動物飼育専攻	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	前期
						曜日・時限	スクーリング

【授業の学習内容】

子どもの運動あそびや基本的な生活習慣について正しい知識と誤った情報を明確にし、将来保育者として指導、援助ができるよう、様々な知見を理解する

【到達目標】

健康に関する保育内容(就学前段階の運動あそびの指導・援助、基本的な生活習慣の形成およびその援助、健康、安全に関する保育活動)および方法を実践的に探求していくために必要な知識、技能を獲得する

授業計画・内容

1回目	オリエンテーション、健康の概念
2回目	健康の定義と日本の健康への取り組み
3回目	健康と体力
4回目	子どもの健康に関する取り組み(基本指針、エコチル調査)
5回目	発達課題と運動
6回目	運動遊びの意義
7回目	生活習慣病
8回目	小児生活習慣病
9回目	これから課題と保育者として指導、援助
10回目	レポート作成
準備学習 時間外学習	・インターネットやテレビや雑誌などの情報(こども、幼児、子育て、健康、スポーツ、体育、あそびなど)に関心を向けておくこと
評価方法	レポート100%
受講生への メッセージ	

【使用教科書・教材・参考書】 □

2019年度 シラバス

こども保育&動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	情報処理入門 I (A Guide to Information Processing I)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	井口 恵美里
専攻名	こども保育&動物飼育専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	前期 スクーリング
【授業の学習内容】							
<p>社会人として、また、企業において必要とされる人材となる為にはコンピュータの基本操作や実践に役立つ書類作成能力・データ処理能力・プレゼンテーション能力が求められる。</p> <p>通常の情報処理の講義演習に置いて、Word・Excel・Power Pointの基本機能を学習する為、本講義では演習を通してWordの応用機能やPower Point等を使用した幼児向けのデータ作成スキルを習得していく。</p>							
【到達目標】							
<p>目標①コンピュータの基本操作ができる。</p> <p>目標②インターネットやSNSについての知識やマナーを理解し、実践できる。</p> <p>目標③Wordで基本文書作成ができる。</p> <p>目標④Wordの様々な機能を活用し、総合的な文書作成ができる。</p>							
授業計画・内容							
1回目	ペイント系ソフトの基本操作ができる。(ページ設定・文字入力・印刷 他)						
2回目	Word 図形描画の基本操作ができる。						
3回目	Word 図形描画の応用操作ができる。						
4回目	Word 図形描画機能を使用して、リアリティのある図形描画ができる。						
5回目	Word ポスター等の作成・編集ができる。						
6回目	Word パンフレットの作成・編集ができる。①						
7回目	Word パンフレットの作成・編集ができる。②						
8回目	Power Pointの基本操作ができる。						
9回目	Power Pointの応用操作ができる。						
10回目	Power Point 効果的なスライドの作成ができる。						
準備学習 時間外学習	通常の情報処理の講義演習に置いて、Word・Power Pointの基本機能を学習する為、特に準備学習は必要なし。						
評価方法	総合演習70%、授業参加態度30%						
受講生への メッセージ	配布資料で授業を進めていきますので、テキスト等は特に必要ありませんが、USBメモリは忘れずに持って来ること。						
【使用教科書・教材・参考書】 □							
特に指定しない							

2019年度 シラバス

こども保育&動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	生涯スポーツ (Lifelong Sports)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	山田 大介
専攻名	こども保育&動物飼育専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	後期
						曜日・時限	スクーリング

【授業の学習内容】

実技を通して、こどもや障がい者、高齢者を対象とした運動・スポーツ活動の種類やルールを学び、自らが実践できるようになる

【到達目標】

- ・幼児期および青年期における運動・スポーツの意義や果たすべき役割を理解する
- ・こどもや障がい者を対象とした運動・スポーツ活動に関する基礎的な技能を習得する

授業計画・内容

1回目	オリエンテーション、アイスブレイキング
2回目	生涯スポーツとは
3回目	体操・ストレッチ
4回目	軽運動
5回目	ボールを使った運動
6回目	ボールを使った運動
7回目	ニュースポーツを体験(ドッチビー、タオルバレー、アルティメットなど)
8回目	レクリエーションゲーム
9回目	マインドスポーツ
10回目	マインドスポーツ
11回目	スポーツの指導方法について
12回目	プログラムの作成
13回目	プログラムの実施および指導
14回目	これからの日本の生涯スポーツの在り方
15回目	まとめ、レポート
準備学習 時間外学習	ボランティアやスポーツイベント、レクリエーション活動に積極的に参加すること
評価方法	指導プログラム50%/レポート50%
受講生への メッセージ	

【使用教科書・教材・参考書】 □

テキスト「生涯スポーツ・健康科学」

2019年度 シラバス

こども保育&動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	幼児と音楽表現 (Infant and Music Expression)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	村中 悦子 村中 千秋
専攻名	こども保育&動物飼育専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	後期
						曜日・時限	スクーリング

【授業の学習内容】

子どもの歌やコールユーブンゲンを歌うことで音程の感覚を養う。
楽典の解説を行い、読譜練習を行う。個人レッスンで個々の演奏表現技術を高める。

【到達目標】

- ・ピアノ伴奏の基礎を理解し、演奏技術の向上を目指す。
- ・基礎的な楽典を理解し、読譜ができる
- ・教育現場で必要な曲のレパートリーを増やす

授業計画・内容

1回目	ピアノの基礎練習
2回目	指の練習、楽典(音名、音符と休符)
3回目	リズム練習、リズム打ち 音階
4回目	コールユーブンゲン
5回目	ピアノ練習(季節の歌)
6回目	楽典問題 解説
7回目	コールユーブンゲン 子どもの歌
8回目	生活の歌 子どもの歌 季節の歌
9回目	生活の歌 子どもの歌 季節の歌
10回目	実技練習
準備学習 時間外学習	
評価方法	授業へ取り組む姿勢(20%)、実技試験(80%)
受講生への メッセージ	日々の努力が大切です。
【使用教科書・教材・参考書】 □	
ピアノ教本、声楽教本	

2019年度 シラバス

こども保育&動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	健康科学 (Health Science)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	山田 大介
専攻名	こども保育&動物飼育専攻	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	前期
【授業の学習内容】 健康やスポーツの現状について、流行りや表面上だけの情報に惑わされず、最新の知見を取り入れ、自分自身の健康について積極的に考えていく授業を展開する。							
【到達目標】 ・スポーツが政治、経済、社会、文化にどのような影響を与えているのか、またスポーツが健康維持や体力向上にどのように関わっているかを理解する。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション 健康の概念
2回目	日本のスポーツの現状とは
3回目	スポーツの意義(競技スポーツ)
4回目	スポーツの意義(生涯スポーツ)
5回目	スポーツの意義(商業スポーツ)
6回目	スポーツの意義(学校スポーツ)
7回目	スポーツの課題
8回目	まとめ、レポート作成について
準備学習 時間外学習	・インターネットやテレビや雑誌などの情報に関心を向けておくこと ・積極的に体を動かすこと(スポーツ、トレーニング、レクリエーション、趣味など)
評価方法	授業内容に関するレポート
受講生への メッセージ	健康、スポーツについて正しい情報を持ち、健康について積極的に取り組んでいきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 □ テキスト「生涯スポーツ・健康科学」	

2019年度 シラバス

こども保育&動物飼育専攻

科目名 (英語表記)	社会的養護 I (Social Protective Care)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	矢野慎太郎
専攻名	こども保育&動物飼育専攻	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜日4時限
【授業の学習内容】 社会的養護の基本的なあり方を考え、指導援助の理論と実際を捉えることができるようになる。							
【到達目標】 児童の生存権、発達権を保障し、健全育成を目指すために、児童に対する社会的養護の基本的なあり方を探ることを目標とする。社会的養護の基本的なあり方は、具体的には養護についての考え方、および児童の保護、指導、治療権利養護、自立支援等についての理論と実際を専門的、科学的に探求することにある。児童を取り巻く社会情勢や、専門職に期待される役割などについて説明できる知識を身につけると共に、自分の考えを持ち、意見を述べられるようになることを目指す。							
授業計画・内容							
1回目	社会的養護の理念と概念を説明できる						
2回目	社会的養護の歴史の変遷について説明できる						
3回目	子どもの人権養護に向けた取り組みを説明できる						
4回目	社会的養護の基本原則を説明できる						
5回目	社会的養護における専門職の倫理と責務を説明できる						
6回目	社会的養護の制度と法体系を説明できる						
7回目	社会的養護の基本的な仕組みと実施体系を説明できる						
8回目	ファミリーソーシャルワークの意義やプロセスを説明できる						
9回目	社会的養護の対象と支援のあり方について説明できる						
10回目	家庭養護と施設養護について説明できる						
11回目	社会的養護に関わる専門職の種類、特徴等について説明できる						
12回目	社会的養護に関する社会的状況を説明できる						
13回目	施設等の運営管理の現状と課題を説明できる						
14回目	被措置児童等の虐待防止の現状と課題を説明できる						
15回目	社会的養護と地域福祉の現状と課題を説明できる						
準備学習 時間外学習	テキストを熟読し用語を理解しておくこと。						
評価方法	レポートと期末試験の結果によって成績評価を行う。						
受講生への メッセージ	日頃から新聞、テレビ、ネット等に触れ、社会的養護に関連する情報に目を向けて下さい。また、講義を通して基礎知識を身に付けると共に、自分の考えを持ち、意見を述べることの出来る専門職を目指しましょう。						
【使用教科書・教材・参考書】 相沢仁・林浩康『社会的養護 I 新・基本保育シリーズ⑥』中央法規出版 2019年							